

建設文教委員会

開催日	令和元年9月19日
時間	午前9時30分～午後2時22分
場所	委員会室
出席議員	八木 勝之、岸本 洋美、浅井 泰三、高橋 哲生 小崎 進一、大塚 祥之、浅野 富典
欠席議員	なし
出席理事者	永田市長 葛谷副市長 齊藤教育長 宮崎企画部長 舟橋人事秘書課長 後藤企画政策課長 平子総務部長 岩田財政課長 永渕建設部長 横井建設部参事 鈴木建設部参事 飯田土木課長 瀬尾土木課課長補佐 長谷川都市計画課長 平野都市計画課課長補佐 佐藤都市計画課課長補佐 沢田都市計画課課長補佐 菅野上下水道課長 中野上下水道課課長補佐 木村上下水道課課長補佐 前田新清洲駅周辺まちづくり課長 加藤教育部長 西尾教育部参事 石黒学校教育課長 吉野学校教育課課長補佐 大沼学校教育課課長補佐 近藤生涯学習課長 齋藤生涯学習課課長補佐 藤田生涯学習課課長補佐 浅野スポーツ課長 石田スポーツ課課長補佐 吉田学校給食センター管理事務所長
関係職員	浅田議会事務局長 高山議事調査課長 川村議事調査課課長補佐
議案又は協議事項	1. 建設文教委員会付託案件
備考	傍聴者 なし

(時に午前 9時30分 開会)

建設文教委員会委員長 (八木 勝之君)

おはようございます。

ただいまから建設文教委員会を再開いたします。

傍聴者はおみえですか。

議事調査課課長補佐 (川村 幸一君)

一般傍聴人はおみえになりません。

建設文教委員会委員長 (八木 勝之君)

本日は、教育委員会の所管について審議していただきます。

それでは、最初に、認定第1号 平成30年度清須市一般会計決算認定について、所管ごとに歳入歳出続けて説明をお願いいたします。

学校教育課長 (石黒 直人君)

学校教育課、石黒でございます。

それでは、平成30年度歳入歳出決算書をお願いいたします。

歳入につきましては、教育部所管一括で御説明させていただきます。

資料の16、17ページをごらんください。

12款使用料及び手数料、1項使用料、一番下の8目教育使用料、予算現額2千760万円、収入済額2千766万2千250円。

1ページめくっていただきまして、1節幼稚園使用料から3節保健体育使用料までで、主なものといたしましては、幼稚園の授業料や施設の使用料でございます。

20、21ページをお願いいたします。

13款国庫支出金、2項国庫補助金で、一番下の5目教育費国庫補助金、予算現額6億3千366万4千円、収入済額2億6千225万円、収入未済額2億7千630万9千円です。

1節小学校費補助金から1ページめくっていただきまして、3節幼稚園費補助金までです。

21ページに戻っていただきまして、1節小学校費補助金の収入未済額4千996万6千円につきましては、小学校8校の空調設備設置工事を令和元年度に施工するため、繰越明許したものです。

23ページをお願いいたします。

2節中学校費補助金の収入未済額2億2千634万3千円につきましては、西枇杷島中学校、

春日中学校の長寿命化等改修工事、また中学校4校の空調設備設置工事及び新川中学校万代堀撤去設置工事を令和元年度に変更するため、繰越明許したものです。

また、収入済額の主なものは、新川小学校・春日小学校・清洲中学校の長寿命化等改修工事に対する交付金と特別支援教育就学奨励費補助金、幼稚園就園奨励費補助金でございます。

26、27ページをお願いいたします。

14款県支出金、2項県補助金、8目教育費県補助金、予算現額1千184万3千円、収入済額956万4千円。

1節教育総務費補助金と2節社会教育費補助金で、主なものは、放課後子ども教室推進事業費補助金です。学校教育課が実施する放課後子ども教室と生涯学習課が実施するサタデーキッズ事業に対する補助金でございます。

次に、3項県委託金、1目総務費委託金、予算現額1億4千396万6千円、収入済額1億3千886万7千118円。

4節統計調査費委託金、収入済額525万1千648円のうち備考欄の一番下、学校基本調査事務市町村交付金の1万円が教育部所管でございます。

次に、5目教育費委託金、予算現額26万3千円、収入済額13万円。

1節教育総務費委託金で、キャリアスクールプロジェクト事業委託金でございます。

28、29ページをお願いいたします。

16款寄附金、1項寄附金、4目教育費寄附金、予算現額1千円、収入額はありません。

次に、30、31ページをお願いいたします。

17款繰入金、2項基金繰入金、1目基金繰入金、予算現額8億4千67万2千円、収入済額8億4千67万2千円のうち備考欄一番下です。義務教育施設整備基金繰入金3億9千900万円が教育部所管分でございます。

春日小学校他2校の長寿命化計画に伴う大規模改修工事費等に充当したものでございます。

32、33ページをお願いいたします。

19款諸収入、5項雑入、2目雑入、予算現額6億1千673万9千円、収入済額5億9千186万1千425円、不納欠損額2万2千500円、収入未済額として1千336万1千922円。

1ページめくっていただきまして、34、35ページをお願いいたします。

下段の10節教育費雑入でございます。収入済額2億8千794万6千140円、不納欠損額

2万2千500円。

これは学校給食費でございます。収入未済額487万735円、こちらも学校給食費で、前年度分が99万2千575円、過年度分が387万8千160円となっております。

また、雑入の主なものにつきましては、新川高等学校の用地使用賃貸借料、中学生海外派遣研修の個人負担金、学校及び幼稚園の給食費などでございます。

36、37ページをお願いいたします。

20款市債、1項市債、2目教育債、予算現額18億6千500万円、収入済額9億1千960万円、収入未済額8億2千540万円。

1節社会教育債から4節の中学校債までで、公民館整備事業債は清洲市民センターの外壁改修工事費、体育施設整備事業債は、アルコ清洲プール内階段取替工事費にそれぞれ充当いたしました。

3節小学校債、4節中学校債につきましては、空調設備整備工事費、長寿命化計画に伴う大規模改修工事費等に充当したものであります。

以上が、教育部所管の歳入でございます。

引き続きまして、歳出のほう、学校教育課所管分を説明させていただきます。

84、85ページをお願いいたします。

10款教育費、1項教育総務費、1目教育委員会費です。予算現額226万5千円、支出済額221万6千450円、不用額4万8千550円。

1節報酬から19節負担金、補助及び交付金まででございます。主なものは、教育委員4人分の報酬、区市町村教育委員連合会等負担金等でございます。

次に、2目事務局費です。予算現額2億9千647万8千円、支出済額2億9千262万2千766円、不用額385万5千234円。

1節報酬から次のページの20節扶助費。主なものは、職員人件費及び生徒指導推進協議会費、県教職員派遣負担金などの教育事務費、英語指導嘱託員報酬等、青少年家庭相談嘱託員報酬、特色ある学校づくり費などの教育指導費、また、市内5か所分の放課後子ども教室の運営費と今年度から開設いたしました清洲東小学校、星の宮小学校及び桃栄小学校の整備費などの放課後子ども教室費です。

86、87ページをお願いいたします。

私立幼稚園等就園奨励費補助金、私立高等学校授業料等補助金の私立学校等振興費です。

次に、2項小学校費、1目学校管理費です。予算現額17億2千344万855円、支出済額12億3千612万1千389円、繰越明許費4億3千52万8千円、不用額5千679万1千466円。

1節報酬から19節負担金、補助及び交付金までです。主なものは、学校医等の報酬などの小学校事務費、光熱水費及び施設の修繕、管理備品の賃貸借、施設の保守点検及び委託など維持管理のための小学校管理費、小学校整備費として、新川小学校及び春日小学校の体育館防水補修工事、小学校8校の空調設備設置工事の実施設計等でした。

なお、繰越明許費が、平成30年度国の補正予算を受け国庫補助金が交付決定されたことにより、3月議会にて繰越明許費補正を認めていただき、本年度施工してまいりました8校の空調設備設置工事の管理委託料等工事費でございます。

繰越事業費といたしましては、新川小学校と春日小学校の長寿命化等改修工事の管理委託料と工事費でございます。

2目教育振興費です。予算現額6千335万7千305円、支出済額6千301万5千307円、不用額34万1千998円。

8節報償費から次ページをお願いします。20節扶助費までです。主なものは、各種教材や学校図書などを整備する各小学校教育振興費、ランドセル等の入学祝い品費及び英和辞典を贈呈した卒業記念品費、要保護・準要保護児童などの就学を援助する就学援助費です。

3項中学校費、1目学校管理費です。予算現額17億5千275万8千457円、支出済額6億6千526万5千481円、繰越明許費10億374万1千500円、不用額8千375万1千476円。

1節報酬から19節負担金、補助及び交付金まででございます。主なものは、学校医等の報酬などの中学校事務費、光熱水費及び施設の修繕、管理備品の賃貸借、施設の保守点検及び委託など維持管理のための中学校管理費、中学校整備費として、新川中学校万代塀撤去設置工事に伴う実施設計費、春日中学校防球ネット設置工事の施工、また、西枇杷島中学校・春日中学校の長寿命化による大規模改修工事及び4校の空調設置工事に伴います実施設計費であります。

なお、繰越明許費は、平成30年度国の補正予算を受け、国庫補助金が交付決定されたことにより、3月議会にて繰越明許費補正を認めていただき、本年度施工してまいりました4校の普通教室空調設備設置工事、西枇杷島中学校・春日中学校の長寿命化等改修工事等の管理委託料と工事費でございます。

繰越事業といたしましては、清洲中学校の長寿命化等改修工事の管理委託料と工事費でございます。

次に、2目教育振興費です。予算現額4千316万9千823円、支出済額4千75万8千333円、不用額241万1千490円。

8節報償費から次ページをお願いいたします。20節扶助費までです。主なものは、各種教材や学校図書などを整備する各中学校教育振興費、中学校の卒業を祝う卒業記念品費、要保護・準要保護生徒などの就学を援助する就学援助費などです。

90、91ページをお願いいたします。

4項幼稚園費、1目幼稚園管理費、予算現額6千742万3千円、支出済額6千470万5千968円、不用額271万7千32円。

1節報酬から19節負担金、補助及び交付金までです。主なものは、職員人件費、西枇杷島第1幼稚園費として、学校医等報酬、臨時職員の賃金や事務機器の賃貸借等幼稚園事務費、光熱水費及び施設の修繕、施設の保守点検及び委託など維持管理のための幼稚園管理費、各種教材や図書などを整備する教育振興費です。

学校教育課所管分は以上となります。

生涯学習課長（近藤 修好君）

生涯学習課長、近藤です。

引き続き、生涯学習課所管の歳出について説明させていただきます。

よろしくをお願いいたします。

90ページ、91ページをお願いいたします。

10款教育費、5項社会教育費、1目社会教育総務費です。予算現額1億3千437万7千800円、支出済額1億3千305万8千443円、不用額131万9千357円。

1節報酬から19節負担金、補助及び交付金までで、主なものは、職員人件費、講座・教室を実施している生涯学習推進費、女性の会への補助金を含む男女共同参画社会推進費、小中学校生徒の広島派遣や成人式などの青少年健全育成費及び盆踊りや文化展・芸能発表会などを実施する文化活動費を含む文化振興費です。

92ページ、93ページをお願いいたします。

2目公民館費です。予算現額1億4千312万8千717円、支出済額1億4千284万2千905円、不用額28万5千812円。

4節共済費から19節負担金、補助及び交付金までで、主なものは、清洲市民センター・春日公民館整備費では、両施設とも西面の外壁補修工事を行いました。

なお、春日公民館については、去る9月10日、屋上に設置されている空調機器、冷温水発生機2号機の熱交換機腐食により、有害物質や六価クロムを含む臭化リチウム容器が、少量ではありますが、屋上排水管を伝い、ポンプの冷却水と一緒にU字溝に流れ出しました。愛知県民事務所環境保全課の指導により、影響のおそれのあるU字溝にたまっていた水及び泥を撤去・洗浄し、適正に処理しました。これによる近隣作物等の影響もなく、現在は1号機のみではありますが、正常に稼働しております。

次に、3目文化財保護費です。予算現額1千960万4千379円、支出済額1千932万8千323円、不用額27万6千56円。

1節報酬から19節負担金、補助及び交付金までで、主なものは、指定文化財である山車の修理補助金などの指定文化財補助金を含む文化財保護費及び西枇杷島問屋記念館の管理費、また、歴史資料展示室費では、市立図書館内にある歴史資料展示室で企画展を3回実施しております。

次に、その下、4目社会教育施設費です。予算現額1億8千10万104円、支出済額1億7千953万6千513円、不用額56万3千591円。

4節共済費から15節工事請負費までで、主なものは、にしびさわやかプラザの管理費、平成30年度の指定管理料1億3千5万9千円が含まれている夢広場はるひ管理費、絵画トリエンナーレ開催費、西枇杷島会館費でございます。

以上が、生涯学習課所管分でございます。

スポーツ課長（浅野 英樹君）

スポーツ課、浅野です。

引き続き、94、95ページをお願いします。

スポーツ課所管分を御説明します。

6項保健体育費、1目保健体育総務費、予算現額7千93万2千円、支出済額7千50万2千341円、不用額42万9千659円です。

1節報酬から19節負担金、補助及び交付金まででございます。支出の主なものとしましては、職員人件費を除き保健体育費としてスポーツ推進委員報酬34名分でございます。体育振興費として2千96万6千124円で、春と秋に開催した清須ウオーク費、体育協会補助金、子ども会活動補助金他各種団体の補助金でございます。

2目体育施設費、予算現額3億151万6千円、支出済額2億9千997万4千863円、不用額154万1千137円。

1節報酬から22節補償、補填及び賠償金でございます。支出の主なものとしましては、清洲勤労福祉会館・新川地域文化広場の指定管理における施設管理委託料と清洲勤労福祉会館・新川地域文化広場・春日B&G体育館屋外社会体育施設の維持管理費でございます。

スポーツ課所管分としましては、以上でございます。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

学校給食センター管理事務所長、吉田でございます。よろしくお願いいたします。

引き続き、学校給食センター管理事務所の所管分を御説明させていただきます。

94、95ページから96、97ページをごらんください。

3目給食センター費、予算現額5億4千10万8千円、支出済額5億3千317万7千877円、不用額693万123円。

1節報酬から19節負担金、補助及び交付金まででございます。

右側の備考欄をごらんください。

職員人件費を除きまして、その下、学校給食センター費4億8千519万1千752円。内訳でございますが、学校給食センター運営委員会委員報酬7万9千200円、運営委員会に御出席いただいた委員12名分の報酬でございます。

学校給食センター事務費8千855万6千934円。主な支出は、臨時職員57人分の賃金7千480万5千632円でございます。

学校給食センター管理費6千419万9千75円。主な支出は、学校給食センター施設の光熱水費、修繕料及び保守点検業務委託料でございます。

学校給食センター運営費3億3千235万6千543円。主な支出は、学校給食の賄い材料費が2億7千289万2千85円、幼稚園給食の賄い材料費が687万2千884円、給食の配送及び回収業務に係る委託料が3千356万6千400円でございます。

教育部所管の歳出は、以上でございます。

よろしくお願いいたします。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

ありがとうございました。

それでは、質疑に入ります。

歳入の16、17ページ、よろしいですか。

(「なし」の声あり)

建設文教委員会委員長 (八木 勝之君)

それでは、18、19ページ。

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長 (岸本 洋美君)

岸本でございます。

一番最上段の授業料についてお尋ねいたします。

授業料880万円ほどございます。第1幼稚園の授業料だと思いますが、お聞きしたいのは、令和元年から幼保無償化ということになります、給食費だけはいただくよということなんです、ここはどのように変わっていきますか。

建設文教委員会委員長 (八木 勝之君)

石黒課長。

学校教育課長 (石黒 直人君)

10月から授業料については無償化ということになりますので発注はしません。

建設文教委員会委員長 (八木 勝之君)

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長 (岸本 洋美君)

発注はしません。承知しております。

令和元年の予算書を見ましたら、授業料が531万9千円計上してありました。預りが97万6千円、当然これは減ってて、半年分が減らされていると思うんですが、お聞きしたいのは、残りの満額は国のほうからの交付金ですかね、地方特例交付金、子ども・子育て支援交付金ですか、これできちんと賄われると、そういうふう認識していいですか。

建設文教委員会委員長 (八木 勝之君)

石黒課長。

学校教育課長 (石黒 直人君)

学校教育課、石黒です。

そのようにお聞きしています。

建設文教委員会委員長 (八木 勝之君)

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

わかりました。

それですね、心配するのは翌年度からですけど、それも満額というふうに聞いてみえますか。
その辺がわからないもんですから。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

それにつきましては、まだ正確な情報は聞いていません。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

わかりました。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

では、20、21ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

それでは、22、23ページ。

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

岸本です。

23ページの備考欄の上から3行目に学校施設環境改善交付金とございます。先ほど課長が説明した学校関係の万代堀、空調とおっしゃったんですが、この交付金の何%、その事業に対して充当ありますか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

3分の1以内です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

3分の1以内ということであれば、どのあたりになりますか。

多いと3分の1で、少なければ、例えば1割あるのか、もっと少ないよとか、事業によってか
もしれませんが、一括でここに書いてあるものですから、その事業に対してこれは1割だよとか、
3割だよとか、そういうことなんですかね。その辺を。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

上段の部分は過年度に設計をした部分で、補助対象額となる事業費の3分の1を収入しておる
ものでございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

この件につきましてわかりました。

事業によって3分の1ではない、この件ではなくて、改善交付金というのも3分の1でないこ
ともあるんですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

こちらにつきましては、補助対象費の3分の1になっております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

次、26、27ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

28、29ページ、よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

次、30、31ページ、よろしいですか。

(「なし」の声あり)

建設文教委員会委員長 (八木 勝之君)

32、33ページ、よろしいですか。

(「なし」の声あり)

建設文教委員会委員長 (八木 勝之君)

34、35ページ。

浅野委員。

浅野 富典委員

担当しとって記憶も薄れてきましたのでお聞きしますが、35ページの雑入の教育費雑入、一番上に高等学校用地使用賃借料660万1千656円、この使用料ですが、これは県立の新川高校の地主さんから借地してみえる借地料を本市の一般会計をトンネルし、地主さんにお支払いするための土地の入ですが、まず間違いありませんか。

建設文教委員会委員長 (八木 勝之君)

石黒課長。

学校教育課長 (石黒 直人君)

そのとおりでございます。

建設文教委員会委員長 (八木 勝之君)

浅野委員。

浅野 富典委員

それですね、歳出に入ってしまうんですが、660万1千656円、歳出には多分85ページのどこに入っているのか、成果報告書を見ても出てこないものですから、85ページにあります教育事務費の中に入っているわけですね。

建設文教委員会委員長 (八木 勝之君)

石黒課長。

学校教育課長 (石黒 直人君)

事務局費の中の教育事務費の中に入っています。

建設文教委員会委員長 (八木 勝之君)

浅野委員。

浅野 富典委員

それはざっと幾らですか。支払いするための同じ額なのか、ここに何か事務的に経費が生じた額が含まれて計上されているのか、どっちなのか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

歳入の同額を支出しております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野委員。

浅野 富典委員

人件費は会計上の仕事の中で事務を処理したとして、余分なものは出てないと、そういうことでよろしいですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

そうです。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野委員。

浅野 富典委員

そこでお聞きしたいんですが、私も担当しておりましたので言えないんですが、一番最初、何でこんなところにこんなものが計上されているのかとふと思ったんです、当時ね。だから、新川高校を誘致する際に、当初、御事情があつて新川町の一般会計で受けて、そこからトンネルして地主さんにお支払いすると、こういうことになったそうですが、これはそういうことではしょうがないなと思ったんですが、合併して大分年月がたちました。清須市にもなりました。私、このままでいいのかなというふうに感じとるわけなんです。

といいますのは、そこでまず聞きます。覚書か何かというのはありますか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

各地主さんとは契約書を交わしております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野委員。

浅野 富典委員

私、見たことがないんです。

このままの状態で行きますと、ずっといつまでたってもこのままですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

契約書が長期の契約になっておりますので、このまま続いていくものと認識しております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野委員。

浅野 富典委員

例えば、3年に一度組み直すとか、1年ごとに見直すと、そういうのはないんですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

特段の事情がない限りは、そのまま契約は続行しております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野委員。

浅野 富典委員

例えば、変な言い方しますが、高校がなくなったりして、その借地料の支払いがなくならない限りはずっと続くわけですか、状態が。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

そのように理解しています。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野委員。

浅野 富典委員

そこを私は当時からおかしいなど。じゃあ、言われりゃよかったんじゃないかと言われるかもしれませんが、その状態がずっと続くというのは、いささかどうかなと思うんですが、どうですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

加藤部長。

教育部長（加藤 秀樹君）

教育部長の加藤でございます。

ただいま新川高校、これは県の施設でございますので、今の契約は県の指導といたしますか、当時、市を、今、おっしゃられたように、介して行うという話になっておるのみでございます、もちろん学校がなくなるとか、そこに特別な事情が起きれば、県のほうの対応に従うことになると考えております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野委員。

浅野 富典委員

ちなみに、これは当初から、例えばですね、相続で県が買ったとか、そういうことで減ったりすることはありますか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

減っているところはない。当初、昭和60年だと思いますが、契約をして、60年間という契約の内容だったと思います。相続をやって名義人さんは変わりますが、60年間は契約は続きます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野委員。

浅野 富典委員

わかりました。

個人的にはこういう状態がいいのかなと危惧したので、質問させていただきました。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

あと、よろしいですか。

浅野委員。

浅野 富典委員

給食費のことでお伺いしたいんですが、給食費の関係は一般質問でもあったんですが、当然滞納があるわけなんです、滞納者の中に要保護とか準要保護を受けられておりながら給食費を滞納されてみえる方はおみえになりますか、なりませんか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

吉田所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

学校給食センター管理事務所長、吉田です。

今、未納になっている方たちの中には、一部そういった方たちもおみえになります。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野委員。

浅野 富典委員

準要保護・要保護を受けておきながら滞納というのは、いささかおかしな話で、そういう場合、何か文書を出して、直接ひいちゃうことは多分、今の時代ですからできませんが、何らかの措置をしないと、お金は市から払っておいて、それで給食費を納めんということは、それはおかしな話じゃないかと思うんですが。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

吉田所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

現状、滞納されている方は一部と言いましたが、ほんのわずかでございます、そのケースにつきましても、福祉のほう、ケースワーカー等々と話をしながら徴収のほうを行っております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野委員。

浅野 富典委員

わかりました。しっかりと努力していただきたい。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

今、浅野委員から質問が出た高等学校用地のところ、私、今日初めて勉強させていただいて、こういったことがあることを知りましたが、それに関連して新川高校ということで質問させていただきたいんですけど、地元の貴重な高等学校ということで新川高校があるわけですが、ここと清須市の連携というのは何かあるんでしょうか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

現時点では交流というものがありません。

ただ、新川高校の生徒さんがアルコのプールを使ったり、体育館を使ったりということで活動してみえるということは承知しております。

スポーツ課長（浅野 英樹君）

スポーツ課長の浅野です。

今年度から新川高校のバレーボール部に地元のプロチームであるウルフドックス名古屋からバレーボールのコーチのほうを順次させていただいております。

シーズンは10月から始まりますので、定期的というわけにはいきませんが、時間があるときにバレーボールのコーチをしていただいております。

あとは、ハンドボールのほうも中学校のほうからもチケットをもらったりとかして、見に来てくださいというような状況で交流ではやっております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

ボランティアとかでも新川高校の生徒が市の行事に出たりとか、そういうようなものはなかったでしょうかね。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

正確に把握しておりませんが、河川美化等で五条高校のほうではそういうことは御協力いただいたことがあるかと思えます。新川高校は把握していません。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

そういった市と高校の交流とか連携の窓口が各課でわかれとるかもしれないし、そこら辺の一番の窓口として教育委員会がどこまで把握してやっているかということを知りたかったんですけど、さっきの答弁だと、何かありませんというような感じだったので、そうではなくて、あると思うので、そこら辺もコミュニケーションの窓口としてどうでしょうかね、教育委員会さん、と思うんですけども。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

加藤部長。

教育部長（加藤 秀樹君）

教育部長、加藤でございます。

窓口という観点でいきますと、私ども教育長のところに校長先生がお越しいただいたり、いろんな形で、何かある場合に、窓口となれるという体制はとっております。

それ以外でも市長が入学式に行かれたり、卒業式に行かれたりとか、清須市内にある高校でございますので、窓口には教育委員会でも人事秘書課でもとっていただけると認識しております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

密にとっていただいて、大事な学校だと思えますので、やっていただきたいと思えます。

よろしく願いいたします。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

それでは、最後に、36ページ、37ページ、よろしいですか。

では、歳出に入ります。

84ページ、85ページ。

浅野委員。

浅野 富典委員

85ページの特色ある学校づくり費、成果表は253ページですが、これはキャリアスクールプロジェクト事業委託金13万円と一般財源を用いまして、1人1人の社会的・職業的自立に向けて必要な能力や態度を育てることを通じてキャリア発達を促すと、このように書いてあるんですが、253ページに西枇中学校、清洲中学校、新川中学校、それぞれもう少し具体的に例えばどういうことをやってみえるかお尋ねします。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

中学校2年生で各企業さんへ行って、その職場を体験するという事業でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野委員。

浅野 富典委員

4校ともですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

当局、答弁。

教育部参事（西尾 博人君）

教育部参事、西尾でございます。

職場体験をもちろんやっておりますけども、それ以外に生き方教育、将来の生き方に対する教育として、各校、講師を呼んで、生き方に関する学習もやっております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野委員。

浅野 富典委員

わかりました。

それから、もう1点、わからなかったものですから教えていただきたいんですが、歳入の27ページにインクルーシブ教育システム推進事業補助金58万4千円てありますね。この財源を利用して、この決算書でどこにあらわれるんですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

こちらについては医療的ケアにかかる、看護師さん等報酬に対する補助金。

浅野 富典委員

何ページのところですか。

学校教育課長（石黒 直人君）

小学校管理費の87ページですね、こちらの星の宮小学校管理費、30年度まで対象になる児童がおみえでしたので。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野委員。

浅野 富典委員

わかりました。ありがとうございました。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

岸本でございます。

私は、その下の青少年・家庭教育相談費のところで280万円計上してございます。主要施策のほうで255ページに計上してございます。この事業の目的がいじめ・不登校・虐待などにかかわる児童とか保護者、先生、そうした方々に専門の方が相談をするという、そういう事業内容になっておりますが、ここの中で、相談件数が前年度より随分多くなっているんですね。来所相談が49とございますが、前年度は7件、学校訪問が292件になっておりますが、前年度60件、電話相談が30件が前年度8件、合計で371件ですけど、前年度75件と4倍ぐらいと言ってもおかしくないぐらいですが、まず、このことについてお尋ねいたします。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

件数的にはかなりいっておるということで、そういう問題を抱えている子どもさん方が保護者に対して家庭教育相談員というものが浸透してきて、連絡がとりやすいというか、相談がしやす

いということで増えているのではないかというふうに推測しております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

私も、随分多いものですから、保護者とか子ども、先生方が積極的に相談に行っていらっしゃるのか、それとも2人の先生方が社会では今いろいろあるものですから、自分たちのほうからどんどん積極的にそういった学校に働きかけたり、その辺がこれまでと様子が変わったのか、そのところをお聞かせください。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

こちらから十分に働きかけはしておるところでもあると思いますし、また、子育て支援課とも連携をとっておりますので、保育園などでそういうお悩みを持っている保護者の方と相談しておりますので、あらゆるところでの機会を広げて、そういうお悩みを持ってみえる保護者、または生徒、児童さんが相談してこれる環境づくりをしていきたいと考えております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

特に、相談の中で多いのはどういったことでしょうか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

詳細な内容についてはいろいろあると思うんですけども、なかなか把握はできておりませんが、人間関係だとかというところが多いというふうに聞いております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

なぜ、お聞きするかといいますと、いじめとか不登校はこれまでも潜在的にもあったものですが、最近、虐待というのが言われてて、本当に教育関係もテレビで問題になったぐらいあったり

して、保育園とか幼稚園だけではなく学校でも現にあると思うんですね、そうしたことで、子どもさんのそういう環境の中で常に気をつけていこうというか、そういったことが大切だなと思うんですが、虐待について、今、現状はどのように把握してらっしゃいますか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

齊藤教育長。

教育長（齊藤 孝法君）

虐待につきましては、28年度が51件、29年度が62件、30年度が53件ございました。主に虐待の主は母親でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

驚いております。51件、62件、本年でも半分しかして来てないのに53件ということですが、もうちょっと詳しく、母親とおっしゃったですけども、虐待もさまざまでしょうが、どうしたことが一番多いんですかね。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

齊藤教育長。

教育長（齊藤 孝法君）

主にですね、放置とか体罰ですね、そういうことがあるということです。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

児童養護施設に入所というか、一時的に、児童相談所、またその施設がありますよね、センター、その現状はどうですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

件数については手元にはございませんが、随時児相が入って保護されるということもあるというふうに聞いています。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

詳細については、教育関係のほうは件数は多いんですが、掌握されてないという、まず、これに驚きました。

私のほうにも親族だったり、いろいろ相談があったりするわけですね。そうすると、大抵、今、教育長がお母さんとおっしゃった。本当にそうだと思うんですね。最近はネグレクトが多いわけで、育児放棄。朝ごはんもやらない、夜もいないとか、いろいろ聞いて、児童養護施設ですかね、入所した方もいて、帰ってくるんだっていうおじいちゃんたちからの声を聞いたりしているんですが、この件数からいって、子育て支援課のほうにも相談員がみえるんですが、そうした連携というのはどのようにしてみえるんですかね。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

連携につきましては、先ほど言ったように、家庭教育相談員さんが子育て支援課と定期的に打ち合わせの会を持っておりますので、保育園児等児童生徒ですね、その辺の該当する子どもさんについては、把握はできていると。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

どこまで行っても、現場の先生が一番気がつくと思うんですが、そこに相談員さんが連携されていると思うんですが、現場の先生方はこちらからの指導としてはどのような指導をされてみえるのでしょうか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

齊藤教育長。

教育長（齊藤 孝法君）

身体的なものが第一に、保健師とかそういう方で、けがをしとったりとか、打撲の跡があったりとかですね、それから、子どもたちが落ち込んでいるという、そんな様子を担任、それから養護教諭等が見ているという、それから不登校状態になっている子どもたち、それから先ほど内容はというふうに言われて、曖昧な表現をさせていただきましたが、身体的なことで気がついたの

は、昨年度では26件、精神的なことでは1件、それから心理的ないろんなことで悩んでいることについては14件、ネグレクトについては13件あったというふうに把握しています。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

わかりました。

現場の先生もいろいろ大変だとは思いますが、こういう2名の方もいらっしゃるの、しっかりそういった先生方、相談員の活用をいただけると思いますが、親がネグレクトだったり虐待があったりとか、そういう中で見えないところであるんですが、これと不登校との関係というのはどのように見ていらっしゃるのか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

そこを直接リンクしているというふうにはわかりませんが、不登校者数については、年々、若干増えているのかなというふうに思っております。

今年度でいいますと、小学校で不登校とされている児童は13人、中学校では35人、不登校というもので把握しておりますので、現状としてはそんな状況です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

わかりました。

不登校も依然として減らないなと思うところですが、虐待というのは命にかかわることなので、その辺のところは、まさか自分の市でとか、本当に嫌なこともテレビで報道を見てるとありますし、それと、1つ気になりますのは、他市から引っ越してきた、他市に引っ越していった、この連携というのも最近よく言われてますが、その辺のところは大丈夫ですか。どのようにしてみえますか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

各教育委員会とその辺は連携を密にしておりますので、該当児童が来れば、前のところから連絡が入りますし、うちから出ていく場合は、該当校に連携をあらかじめしておくということで綿密にやっておるといふような状況でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

最後でございますが、1点、どこでしたかね、教育委員会が個人情報を言っちゃったという、そのことでまた親からの。その辺のところは、事件があってから何か改善されたとか、どのようになりましたか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

齊藤教育長。

教育長（齊藤 孝法君）

そういうことについては、今まできちっとそういうことで秘密検証する、守らなきゃいけないことが変わってきたりするという意味では、必ず各学校が再認識をしながら、もう一度そのことに対して、改めてきちっと取り扱うことについては、再度、教育委員会のほう、また校長会等で指導をしています。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

わかりました。

本市で悲しいこうした事件といたしますか、虐待も含めて起こらないように、また、よろしくお願ひします。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井委員。

浅井 泰三委員

浅井です。

今の岸本委員のことを受けてね、254ページでは、適応指導教室、ふれあい防災センター、ここへ通ってみえる子が、今の岸本委員のお話からすると、不登校数から見るとかなり少ない人

数なんですよね。これも先生方の努力とか、もちろん家庭の努力において防災センターへ行ってらっしゃいと。もちろん生徒の努力もあるし、先生方、周りからの努力もあると思うんですよね。ここへ通ってくれる子は、今までの私の体験から言ってもまだいいかなと思うんですよね。

今お聞きすると、小中合わせて50人近くが今年でも不登校なわけね。そのうち10人足らずしか行ってないんだけど、こういうことには根気よくやっていかなきゃいけないと思うんですけど、どういうふうに対応してみえますか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

適応指導教室のほうに行きなさいよという指導はしてないです。ありますので、行ってみたらというようなことでやっておりますが、不登校の子については、いろんな条件で不登校になると思っていますので、その他の児童生徒に対しては、学校の各担任のほうから、週何回か電話連絡をしたり、家庭訪問をしたりしてお願いしてですね、なるべくならこのまま学校へ復帰していただくというのが基本だと思いますので、そういった働きかけをしております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井委員。

浅井 泰三委員

今までの過去の例からいくとね、通って、そこで少しの交流のある子と、家庭としても安心する。先生としても安心する。もちろん行ってくれば、顕著に少しずつあらわれてくる子が多いと思うんですよね。できるだけ僕はこの教室に通う手だてとしてね、友達の利用とか、もちろん家庭の援助も必要なんですけど、もちろんその1つ1つは学校のほうの先生たちの努力ね、それは生徒も含んで、いじめに遭ってる子が素直に行けるかどうかと、子どもたちを巻き込んだ中でここへ通ったらどうとかいうことを積極的に行っていくと。それはまた積極的かというと、今いろんなところでは、行かんでもええとかいう、テレビなんかを見とるとね、わけのわからん教育者がね、学校は行かんでもええんだよと。行かないという子に行けというのは、とほいうものだと僕は思うんですよね。それはマスコミも含めて奨励してるところにね、それは考え方の違いですから、しかし、我が本市の教育委員会としてはどう考えてみえるかということなんですよね、そういうものに対して。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

齊藤教育長。

教育長（齊藤 孝法君）

私は行かなくていいということじゃなくて、登校指導は、やっぱりしていかななくてはいけない。それは将来的に、今後とか、そういうものにつながっていくというふうに思っています。

いろんな意味で、よびかけをしたり、段階的に今、委員がおっしゃられたように、適応指導教室にきた子は、特に改善が見られる。

それから、子どもたちは、保健室登校とか、そういう形の中で、保健室へ行くことによって、教室に入れない子が保健室の先生、それから相談員と話し合うことによって少しずつ教室に入れる。

それから、3年生の時期になると進路がかかわってきますので、自分たちも含めて少し自覚して、より教室に入れるように、清須の教育委員会としては、登校刺激を、不登校はそのままほかっておけばいいという、そういうことではなくて、登校刺激が必要だというふうに考えております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井委員。

浅井 泰三委員

もう少しだけ。

もう1つね、過去のそういった事例からいってね、そこへ通っている子ね、中学校の子であれば高校へも行けるようになったとかね、そういう例が実際にあるわけですよ。ですから、マスコミが言うような行けない子が学校に行かなくてもいいなんて言っていたら、氷山の一角として、数パーセントの子は、それはそれでまた世に出ておるかもしれん。そういう成功例ばかり奨励されて、地道な、そうじゃないよという社会的な枠組みの中で生きてかないかんよということから、その子どもの時期の大事なときですから、ぜひ、根気よくやっていただきたいということをお願いして、もう1つ。

昨今のテレビの中で、マスコミの中で、新聞にも出てたかな。そういういじめとか虐待とか、学校のいじめや何かでね、生徒同士の仲直りに、先生たちが安易に握手をして仲直りしましょねと言って勝手にと言ったら言葉が悪いかもしれんですけど、あなたたち仲直りしなさい、はい、握手ねと言って、そこで仲直りさせて、一過性に先生たちの自己満足して全く失礼な話なんだけど、そういうことが全国的に見られると。握手をして仲直りというのはよくないんじゃないかと

いうふうに見直しをされていると。本市はそういう教育方針というか、先生方がそういったじめに対処して、握手を奨励させるとということはないんでしょうかね。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

齊藤教育長。

教育長（齊藤 孝法君）

強制的に会って握手をするとか、そういうことはさせていません。ただ、その事案ができたときに、それぞれの言い分等をしっかり聞いて、お互いに相手をですね、こういう意図でこういうことが始まった。だから、それがあるところでお互いに悪いなという、一度それぞれ振り返りをしてやれたときに、次からきっちりやれるかというふうに肯定できたときに、握手とか、そういう形になることはありますが、中身がきちっとわかってないのに、ただ、握手すれば全てが終わりだという、そういうような指導じゃなくて、原因究明からきちっとそこから今やらせるようにしております。

浅井 泰三委員

浅井ですが、ぜひ上っ面的な、そういったことが本市の場合はないと思うんですけども、ぜひ教育長がおっしゃられたように、きちっと裏がとれてからの握手ということでぜひお願いしておくことと、もう1つ、最後なんですけど、今の254ページでいくと、春日地区の方は遠いということもあるかもしれんですけど、ゼロなんですよね。ここ3年、去年も一昨年も春日地区から通ってみえる方がゼロなんですよね。だけど、今の50人からいけば、春日地区の中にも絶対そういう不登校の子どもがみえると思うんだよね。その地理的なことがあるということであれば、何らかに対処が必要だと思うんだけど、石黒さんの方でいや、そうやないよと。春日地区はそういった子はいないということであれば、僕は、それはそれで非常に結構なんだけど、ただ遠いということで、防災センターまで非常に通にくいということであれば、位置的なことも本当ははいずってもこれる距離かもしれんけども、その子らにとっては遠い、誰か送ってくれないか、春日地区はいろんなそういうハンディがある。そういうことに対してはどうなんですかね。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

春日地区につきましては、不登校の生徒、中学生で見ると、現在では1名でありますので、もともと不登校傾向者というのが少ない地区かなというふうには感じておりますし、本年度につき

ましては1名登録をされている生徒がおりますので、確かに遠いのは事実ですが、その必要性を感じて、1名は今年度登録しておりますので、親御さんが連れてくるという形になっていると思いますが、遠いのがゼロということではないかなというふうに感じております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

続いて、齊藤教育長。

教育長（齊藤 孝法君）

先ほど課長が申しましたように、絶対数が春日小・中は非常に少ない。そういうことで、合併する前からずっと不登校が少ないという状況の中で、今回1名が登録しておりますけど、そういう兼ね合いもあるのではないかなということです。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井委員。

浅井 泰三委員

最後の最後、それでね、さっきの岸本委員の話やないけど、虐待の件でもね、過去に、アパートの隣の部屋から火のつくような泣き叫んどる子がおるということで、そのときは保護をして児相まで持っていったんだよね。親には随分恨まれたけどね、だけど、それともう1名は、アパートの階下の人から、しょっちゅう泣き声があるということで、本市に通報させてもらって、それは児相までは行かなくて済んだんですけど、僕はね、手前みそで言うわけやないですけど、そうした子どもが異常な泣き方をしているとか、隣に言うのはいやらしいとか、ちょっと阻まれる、そういうことを抜きに、一言通報することによって随分変わってくると思うんですよね。ぜひ、そういうことを我々も声を上げていきたいと思うんですよね。取り返しのつかんことになってはいかんですから、怪しいなと思ったことには周りの方が積極的に声を上げていただくと、そんなことをお願いをして、以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

教育部参事。

教育部参事（西尾 博人君）

昨年度まで、私、教育の現場におりましたので、教育の現場におった者として発言させていただきます。

今、岸本副委員長とか浅井委員から虐待であるとか不登校、いじめの御心配の声を聞きました。本当に先生方について、心配していただいてありがとうございます。

その3つに共通する大切なことは何かというと、情報の共有だと思います。教育委員会でも、先ほどの2名の相談員が何かあったときに、まず学校と子育て支援課、そして児童相談所、その三者をつなぎながら、情報共有しながら、一致しながらやっております。

あと、いじめとか不登校、虐待もそうですけれども、学校でも早期発見が大切だと思いますので、今、学校の先生たちも放課中になかなか職員室に帰ってきません。何してるかということ、自分の教室に残って子どもたちの様子を見ております。職員室まで帰ってきてしまうと、その間に子どもたちがいじめをしてたりとか、そういうことがありますので、そういうことを早期発見する。

あと、よく会議などを開いて情報交換をします。ある先生がいじめでないと思っけていても、これはふざけだなどと思っけていても、ある先生から見ればいじめだなど見える事案もありますので、そういうところで情報共有をするようにしています。

あと、不登校になりかけのときに手を打つのが大切ですので、二日間連続で休んだときは必ず連絡するようにはしております、三日続くと危険ですので。三日以上続いてしまつて1週間になったときに結構引きこもつてしまつてしまいますので、御家庭とタックを組んで、子どもたちを押し出すようにはしています。その押し出す力がないと子どもは引きこもつてしまつてしまいますので、そのときに御家庭も子どもが泣くのに押し出すと、非常にお母様方は苦しんでおられますが、そのお母様方を保護するのも学校の役目ですので、お母様方の声を教頭などがよく聞いております。そうなつてもどうしても引きこもつて不登校になつてしまつてというのは残念ながらおりますので、そういう子については、そこで縁を切らしてしまつて、もうそのまま不登校でずつと行つてしまつてしまいますので、縁を切らさずに定期的に連絡をとり、そういう子でも学期が変わるとか学年が変わると、そういうときに出てくれるように、行事とかで出てくれるようになりますので、縁を切らさずにやっております。そんな形でやっておりますので、よろしくお願ひいたします。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

ありがとうございました。

それでは、ここで休憩をとりたいと思います。

11時まで休憩とさせていただきます。

（ 時に午前10時45分 休憩 ）

（ 時に午前11時00分 再開 ）

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

休憩前に引き続き質疑に入ります。

84ページ、85ページの続きで大塚委員。

大塚 祥之委員

大塚です。

先ほど不登校の児童数が50名ということで御答弁いただきましたけども、この50名の中に外国の方というか、海外の児童というのは含まれるかどうかお伺いします。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

不登校傾向者のうち3名ほど外国籍の子どもさんがみえるというふうに把握しております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

理由等いろいろあるかと思うんですけど、例えば、日本語が上手に話ができない。日本の勉強についていけないとか、いろんなことが出てくるかと思えますし、たまたま昨日、可児市のほうのそういった海外の生徒に対する「ばら教室」といって、日本語だとか、そういう不登校だとかを抑えるためにそういった教室等も開いて促しているというテレビ番組をやってるぐらいだったんで、当然、清須市も外国人の労働者の数が増えてくれば児童数も増えてくるということで、この辺しっかりアンテナを張っていただいて、そういった事例にも対応していただきたいということを要望させていただきます。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

岸本でございます。

放課後子ども教室で伺います。

備考欄の下から10行目ぐらいにございます4千870万円ございますが、この30年度は古城小学校が開設されて、本年度は残りの3校、小学校が開設されて、これは市長の公約でもありましたので、お母さん方も大変喜んでみえるお声も聞いております。

先日、私自身も地元の桃栄小学校が本年開設されたので、どんな様子かなと思ってお邪魔いたしました。

あそこは1階の多目的ホールを半分潰してお部屋をつくってあったんですね。先生は御在職されて再任用された方と臨時職員さんでしょうか、お二人ぐらいみえて、生徒が1年から3年まで約20名いらっしゃいました。部屋も本当にきれいで、クーラーも入っていて、みんなテーブルに着いて、なごやかにお豆をつかんだりして、ゲームみたいのをやっていたけど、本当にみんな表情もよくて、明るくて、いい雰囲気だなというのをまず感じました。最初にその感想だけ述べさせていただきます。

それで、成果報告書の258ページにございますが、30年度は整備費ということで約3千200万円計上してございます。ここを見ますと、主な支出科目で委託料、工事請負費、備品購入費と約3千100万円ございますが、このことでしょうか。まず、確認でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

そのとおりでございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

わかりました。

それで、現況をお聞きしたいんですが、昨年開設された古城小学校、それから今の清洲東・星の宮・桃栄、まず、古城小学校は1年たってどんな様子か、何かお聞きでしたらお尋ねいたします。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

古城小学校のほうにつきましても、昨年度からやっているということで、登録者数のほうは、成果報告書に記載のあるように120名の登録があります。指導員等でしっかりと指導もしていただいておりますので、子どもの居場所づくりということでいけば十分役割を果たしているかというふうに考えております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

わかりました。

それで、本年開設された3校ですが、登録者数を教えてください。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

東小学校につきましては87名、星の宮小学校が52名、桃栄小学校が66名の登録者数でございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

わかりました。

それで、登録者数は多いわけですが、例えば、桃栄小も今66名でおっしゃったんですが、多くて30名ぐらい来るかなっておっしゃっていたので、教室的には全部66名来たらどうなのかなと思ったんですが、何とか大丈夫かなということは思いましたけど、登録者数よりも半分ぐらいというか、教室の広さというのは大体それで足りてるんですかね。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

日々通われる子どもについては、委員言われるように、半分とか、それぐらいの数になります。ただし、保護者会とかあるときにはどっと増えてしまいますので、そういったときは運動場に出るなり、体育館を使うなどして、狭いながらも何とか子どもたちが過ごせるような工夫を、指導員を始め補助員で努めております。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

わかりました。

それでは、指導員と補助員ですが、各小学校、これまでであるところもそうですが、それは満たされているんですかね。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

指導員につきましては、各教室1名配置しております。補助員については、小学校ごとで4名から6名の範囲内で今、御登録をいただいて、出勤できるときに出勤していただいておりますので、人が足りないといった日もあるかと思いますが、何とか今の登録の人数でやりくりをいただいております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

いっぱいいっぱいだけでも、何とか足りてるという。わかりました。

それで、2点お聞きしたいのは、桃栄小学校は多目的ホールを潰してだったんですけども、あとは清洲東と星の宮はどここの場所でやってみえますかね。

学校教育課課長補佐（吉野 厚之君）

学校教育課、吉野です。

東小学校については、体育館2階のプールに面したところの一部を仕切って放課後子ども教室としております。

星の宮小学校は、以前、特別支援学級だったところを放課後子ども教室として新たにつくりました。特別支援学級の部屋をまた別のところに新たにつくりました。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

それぞれの学校は工夫されて、ない中を部屋をつくられたということで、これも大変、私は子どもの安全・安心な居場所づくりで評価したいと思います。

それで、1つ気になりましたのが、ほかの学校はわかりませんが、たまたま清洲小学校の放課後子ども教室を児童館を見ることがありまして、見学させていただいたんですね。体育館の2階にあって、あそこは人数も多いんですが、そこにいらっしゃった職員の方、支援員の方が心配されてましたのは、例えば、大阪でアニメのああいう火事がありました。その後、そういう脅迫のメールも公共施設にあったということなんですけど、例えば、階段がそこしかないの、そういうことがあったときに、2階にみんな子どもたちがいるわけですから、逃げ場所がないって、それをおっしゃっていたんですね。体育館と連携しているんじゃないかなと思ったけど、体育館の側から見たらすぐ柵があって、飛びおりる、それしかなくて、外のほうはひさしがあったんですけど、そこは聞いたら、工事やる人の外からのということで、どことも体育館ともつながって要は逃げ場所がないんですよ。そういったところっていうのは御存じですかね。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

清洲小学校について、委員おっしゃられた状況だということではありますが、各学校の通常の避難経路というところで把握をしていると思うんですが、子ども教室においても活動中の避難経路、災害等の発生による避難の仕方については、指導員始めもう一度再検討をしていきたいというふうに考えております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

見てない学校もあるんですけど、例えば、桃栄小学校なんかは1階なので、1階のところは裏口があったりとかいいと思うんですね。2階を使っているところが、先ほど清洲東もおっしゃったんですが、避難経路をきちっと確認して、それも日頃から訓練というのを強く思いましたので、よろしくをお願いします。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

次のページ、86、87ページ。

大塚委員。

大塚 祥之委員

大塚です。

小学校管理費というところで御質問させていただきます。

これは中学校管理費ともかかわってくることなんですけども、まず、各小中学校に台帳というものは現在あるということによろしかったですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

施設台帳につきましては、整備をしております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

その施設台帳の中に、先日、新川中学校での校庭でということ、いろんな埋設物だとかの関係もあったんですけど、その施設台帳等にはそういった埋設物だとか配管だとかいろんなことがあるもので、それって詳しく明記というものはされてますでしょうか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

埋設管等につきましては、記載がございません。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

管理という意味で、これからのことも含めてなんですけど、そういったものに対して新たにどうか、施設台帳として計上していくという形が理想だと思うんですけど、そういったことに対しては学校教育としてはどんな考えをお持ちでしょうか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

今後、長寿命化が終わりまして、水道・ガス・電気ですね、そういったライフラインの整備の計画もありますので、そういった中で既存の配管等につきましては一度把握するようなことを検討していきたいと思っております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

くどい話なんですけど、これはぜひやっていただきたいということで、今後どんな工事だとか、いろんなことがまた出てくるかと思えますし、そういったことがないと対策というか、いろんなことも含めてなんですけど、これはぜひやっていただきたいということでお願いしておきます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

ほかに。

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

岸本でございます。

87ページの上段のところで、私立幼稚園等就園奨励費補助金4千900万円、私立高校もございしますが、これは先ほども入でお聞きしましたが、今後、無償化になる。高校は来年ですけど、ここの部分は、金額はどのように変化しますかね。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

私立幼稚園につきましては、授業料免除になりますので、これについては来年度以降は大幅に減額というふうに考えております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

大幅にって、幼稚園については幼稚園無償化ですけど、ゼロにはならないよと。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

幼稚園につきましては2万5千700円が上限になっておりますので、それを超える部分については、私立の場合ですと自己負担が発生するということで、それ以外につきましては、うちのほうから各幼稚園に支給をするという形になると思います。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

要は、幼稚園も無償化になるので、どのくらい減るんですかという。ほとんど減るんですか。なくなりますか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

2万5千700円で、今400名ほど私立幼稚園に行っておりますので、その金額になるうかと思えます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

ということは、この4千900万円の支出が減ると、なくなるよと、今年も半分あるわけですから。

減る幅がどのくらいなのかなと聞いたかったので、後ほどでいいです。

ここの分も来年からですけど、所得制限もありますが、支出としてどのくらい減るのかなというところをお聞きしたかったので、後ほどで結構です。

学校教育課長（石黒 直人君）

あわせて調べさせていただきます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

学校関係のところ防災教育の点で1点だけお聞きしてもいいですか。

防災教育は、ここの部分のどれになるかわからないんですが、1点だけ確認したいのは、子どもたちには避難訓練とかさまざま学校の現場で1学期に1回とか、いろいろやってみえると思うんです、学校によってさまざまで、中学校、小学校で。申し上げたいのは、先生方、職員の方に対する防災教育、心得だったりとか、そういうのは研修とか何かしてらっしゃいますか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

児童生徒への避難訓練とあわせてというか、同じように、教員が最初に行動すべきこと、子どもの命を守るだとか、着実に保護者へ引き渡すということが必要でありますので、そのためには予想される地震災害などに関する知識をしっかりと取得して、発生時での役割、避難経路の把握などについては、平常時から心構えが必要だと思っております。

各学校におかれましては、危機管理マニュアルがありまして、それをもとにそういった避難計画を立ててみえますので、それに基づいて取り組んでいると。教員に対しても危機管理を持つような取り組みをしているというふうに把握しております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

なぜ、職員のそれをお聞きしたかといいますと、先日テレビで東北の津波の件で四国の先生方が現場に研修に行かれた。行かれたところは南三陸の戸倉小学校、それから大川小学校へ行かれたんですけども、両方が校長先生の指導によって、片方の南三陸町は、裏にあった神社、高台に逃げて子どもの命を全部救えた。

片や大川小学校は、裏山があったけども、多くの子どもさんを津波に飲み込まれてしまったという、先生方は日頃からやってみえるんでしょうけど、マニュアルも当然あるでしょう。そこで大きく命が2つに分かれた。そこに四国の先生方が研修に行かれた。課長も見られたかもしれないですけど、そうしたときに、どこの学校でもマニュアルというのは当然あるわけです。現場に則してマニュアルを変えているか、見直しているかという、それをいつもいつも気にしてやっているか。先生方も異動があります。それを点検して確認してやっているか。実地訓練をやっているか。

私、1つ思ったのは、南三陸町の戸倉小学校の校長先生が、海端に学校があるもんですから、一瞬、3階の屋上に逃げようと思った。だけど危ないかもしれない。いつも神社がある裏山に言ってた。そこに逃げて全部助かったという、そういうことを職員のかたが研修に行かれて、現場を確認して、常にそういうことを心得ていて、マニュアルがあるだけじゃない。マニュアルと現場と実地訓練。子どもを実際に走らせて裏山に何分かかかる。低学年はいいけども、高学年はまた違うもっと遠いところまで行かないという場所がないとか、こういうことを見まして、課長

さん、そういうテレビを見てないですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

多分、NHKのニュースの中であったというふうで、私もそれは見ておりました。

マニュアルどおりにやることも大事だと思うんですけども、災害の発生状況に応じて、瞬時に、より安全な行動を先生方のほうから児童生徒へ誘導していただけるように、常日頃からそこに問題意識を持って、学校の中で検討していただきたいというふうに考えております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

毎回これをやってるから安心というんじゃなくて、今こういうふうに大雨だったり南海トラフも言われてるので、先生方にそうした危機感を持っていただいて、先進事例を特に教育委員会のほうからそういったビデオがあれば見せていただいて、この地域に合った防災に対するマニュアルをまず一回見直すという、その辺はどうですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

委員言われることは大事なことだと思いますので、校長会等を通して、教育委員会からも促していきたいというふうに思います。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

大塚です。

小学校整備費についてお伺いします。

主要成果の263ページなんですけども、新川小学校と春日小学校、改修事業ということで、小学校の体育館の屋根防水補修工事ということで、新川小学校・春日小学校が計上されてますけど、これは非構造部材の改修が終わってからのことなんで、そのときには見つからなかった箇所ということでもよろしかったですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

非構造部材につきましては、平成26年・27年で全学校、改修工事をしておると思います。

ここに挙げてあります小学校につきましては、その後、雨漏りが発覚したということで、長寿命化工事に合わせて施工したという状況であります。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

もう1点なんですけども、普通教室の空調設備ということでエアコンの件だと思うんですが、現状、小中学校、エアコン等を使い始めて、使用料等も含めてなんですけども、予想していたような形なのか、飛び抜けて多いのか少ないのかって、どんなふうに今のところ分析されていますか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

使用料につきましては、今のところ7月と8月については支払いが終わっております。そのうち7月が一番暑い時期であろうということで予算のほうは見ておりましたが、ことし、皆さん御存じのように、涼しい時期が7月頭続いておりましたので、見込みに対しては使用している量というのは各学校とも少ないという現状であります。

8月については、ほとんどの学校は普通教室があいておりませんので、稼働はしておりませんので、そんなような状況でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

7月なんですけども、見込みに対して少なかったということだったんですけど、基本的に、エアコン等に係るガス料金等も、小学校・中学校の管理費等で支払われるということになっているかと思うんですけども、それで学校の先生だとかが気を使っている部分だとかいうのも多少あるのかなというふうには感じたりはしたんですけど、そういったものだと来年度どれぐらいかかっ

ていくということにも検討材料にもなっていないかなというのがありますので、こういったものに対してどのような形で先生方に促すというのか、使っていただいているよという形なのか、とにかく学校自体にお任せなんだろうけども、多分、事業費がかさむというふうに感じられる先生とかであれば、気を使って、本来つけるものをつけなかったとか、そういうこともあり得るのかなというふうに思うわけなんですけど、その辺でどういう所見をお持ちですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

エアコンについては、児童生徒の体調管理を考えて適切に使うようにこちらからお話をしておりますので、ガス代について足らなくなるということを不安視しないでくださいということは私のほうから各学校に言っておりますので、優先すべきは、先ほど言ったように、児童生徒の体調管理ですので、せっかくつけたのに、暑くて気分が悪くなるというようなことは避けるように指示しております。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

ありがとうございます。

ぜひ、そういった促しもしていただいているんで、動向を見ながらということで進めていただければと思います。

よろしく申し上げます。以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

岸本でございます。

87ページでございますが、学校管理費、ここの備考欄を見ますと、流用、充用、たくさんあるわけですが、合計して約170万円ぐらいになったんですけど、これはどの分に充てられたんですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

吉野課長補佐。

学校教育課課長補佐（吉野 厚之君）

学校教育課、吉野です。

主なものは、11節光熱水費のほうに多く流用しております。学校施設内で漏水があったりとか、そういうことが多々あったものですから、そちらのほうに多く流用させていただいております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

それは何校かですか。1校ですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

吉野課長補佐。

学校教育課課長補佐（吉野 厚之君）

学校教育課、吉野です。

2、3校あったと記憶しております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

その漏水の分でこの分ですか、約178万円ですけど。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

吉野課長補佐。

学校教育課課長補佐（吉野 厚之君）

学校教育課、吉野です。

ほぼそうだと認識しております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

この漏水というのは全然わからないというか、わからないから漏水なんでしょうけど、何か原因とか、どういうふうに認識してらっしゃいますか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

吉野課長補佐。

学校教育課課長補佐（吉野 厚之君）

学校教育課、吉野です。

老朽化している部分も多々あったと思われるんですけども、なかなかその漏水部分が見つからなくて、大分時間がかかったというところがございます。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

わかりました。

漏水というのは、家庭でもそうですけど、水道代が上がってから、えっという感じがあるんですが、老朽化のところはなるべく気をつけていただくようお願いします。

それともう1点いいですか。

今、大塚委員も聞かれましたが、小学校整備費は後ほど中学校もございますが、この整備費で本当にエアコンが全教室つきまして、子どもさんからも、「涼しいよ」って、こういった声も聞こえております。

先ほど大塚委員も言われましたが、中には28度で「暑いよ」という声も聞いてたりして、課長に聞いたら、先生にお任せで、28度限定ではないよと。体育が終わった後はまた下げなきゃいかんだろうしということで、先日、校長先生も、「担任の先生にお任せしてあります。臨機応変に」ということを聞きましたので、それは安心いたしました。

それで、普通教室はついたんですが、給食を運んでくる配膳室、そこに職員さんといいますが、パートの方っていらっしゃるんですが、その配膳室がとても暑いということでお声を聞いて、現場も幾つか学校を見に行かせていただいたんですが、長久手あたりは配膳室にも空調がついていると。この空調がつくときに国のほうでは普通教室並びに配膳室という、そうした文言もあったそうですが、うちはそういったことは検討はされなかったんでしょうか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

本市においては、まず、普通教室を優先してということで取り組んでおりました。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

何よりも優先したということで、それはよく理解いたします。

私も、大きい学校、小さい学校を見ながら、大きい部屋があったりとか、大型扇風機を回してあったりとか、真夏のときに、そこに調理員さんといいますか、そういう方が2時間とか運んできたのを分けたりとかしている中で、とてもとても大変というお声を聞く中で何か対処方法、例えば、エアコンを早期に設置されればいいですけど、何かそういったことはお考えですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

確かに、窓もないようなところで作業をしていただくということで、厳しい環境でやっていただいているということは認識しております。何かないかということではありますが、空調をつければいいのかもかもしれませんけれども、そこが係る費用等を比べまして、今は局所的に冷気を送るような小型の簡易型の空調機もあるものですから、何をつけたらいいかというところは研究しながら、また、学校のほうの予算の関係もありますので、学校長等と相談しながら、配膳員さんが作業中に倒れるようなことがないように何らかの手がつけれたらなというふうに考えております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

今、課長おっしゃっていただきましたので、これで普通教室、特別教室、ほとんど学校は空調がついたわけですから、そこで作業をする、そういう調理員さんというのか職員さんというのがいらっしゃるわけですから、そこも十分に配慮していただいて、また、学校に言うと、学校にあるお金でいうとなかなかそれも厳しいかなと思うんですが、市のほうでもその辺を配慮していただいて、余分にその分を出していただくとか、その辺は財政のほうはいかがですかね。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

平子部長。

総務部長（平子 幸夫君）

総務部長、平子でございます。

学校のケース、ケースなどもありますので、予算等の都合については教育委員会と十分相談させていただきたいと思います。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

よろしく申し上げます。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

小崎委員。

小崎 進一委員

1つ関連なんですけれども、空調、小学校・中学校が整いまして、教育環境も改善されたという形で、昔は夏は暑いということで夏休みが長かったように思うんですけれども、こういう整備をされたことによって休みの見直しとか、そういったものというのは、今後、市としては考えられることというのはあるんでしょうか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

齊藤教育長。

教育長（齊藤 孝法君）

当面は、まだ気候が不順なものですから、すぐエアコンがということで短くするとか、そういうことについてはまだ検討はしておりません。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

小学校管理費のところ、小学校の遊具についてお聞きしたいんですけど、これは子どもの体力づくりのために資する遊具というのが、鉄棒等いろいろ考えられるんですけど、今どんな状況なんですか。各学校、体力づくりに合うような遊具というのは設置されておるんでしょうか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

各学校ばらばらであると思いますけれども、主には鉄棒だとか、うんていだとか、のぼり棒で
すかね、そういったようなものを使いながら、遊びながら運動に資するような遊具を設置してご
ざいます。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

今、言われた各学校ばらばらなんでしょうかね。

例えば、昔あった平行棒とかというのも私は記憶にあるんですけど、そういったものも、ある
ところ、ないところがあるのか、ばらばらという状況ということによろしいでしょうかね。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

若干はあるものとないものと、学校によってはばらつきがあるというふうに把握しております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

清須市の子どもの体力づくりという観点から見て、どういったものがふさわしいかということ
を検討する中で、1つの統一的なものもつくっていったらどうかなと思いますし、体育の授業と
かで鉄棒をやるのはわかるんですけど、ほかの遊具ですか、そういうものの指導というものはある
んですか、のぼり棒だとかの。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

体育の授業でそういったものを使っているかといったところまでは私のほうでは把握できてお
りませんが、必要に応じて使ってみえると思います。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

というのはね、個人的な話で申しわけないですけど、うちの子どもで、「おい、のぼってみろ」って言ったら、のぼり方もわからんような感じだったんですけど、そういったことをやる必要があるのか、ないのかも含めて、体力づくりという観点と遊具との関係性というのも一度検討していただいて、あるものであれば有効に活用していただいて、子どもたちの体力づくりというものに資すればなと思うんですけども、その辺の御見解を。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

それで体力アップになればいいと思いますが、まずもって安全に使うということの指導については、学校のほうからしっかり、特に低学年が遊具を使うことが多いと思いますので、使い方によってはけがをすることが十分想像できますので、そういった意味では、しっかりと安全なつかい方を指導していただくということも大事ななというふうに感じております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

そういった安全な使い方とか、本来の使い方とか、こうするとこういう体力がつくよというような指導も含めて、また御検討をいただきたいと思います。

それと、昔からののぼり棒とか、鉄棒とか、さっき言った平行棒ですか、うんていだとかというのは昔からある遊具だと思うんですけど、最近ではボルダリングというのもあって、ああいうのも体力づくりにはいいなと思いますので、そういったことの現代にあって、より利用率が高くなるような遊具というものもまた検討していただいて、元気な子どもが育つことを祈っておりますので、また、そういった検討もひとつよろしくお願いします。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井委員。

浅井 泰三委員

関連して、今の高橋委員の延長ですけど、今の遊具じゃないですけどね、学校の体育の時間の跳び箱についてよく特集をやっておるんですけども、一部お母さん方からも、本市の体育の授業の中で跳び箱について、例の組み立て体操じゃないけども、一過性のことならいいんだけども、跳び箱が非常に危険だと、全国的にけがをする子が多いと。学校の先生が無理やり飛ばせたとか、開脚飛びは禁止だとか、もう1つは、名札を外して、ひっくり返ったときに名札が刺さったとか、そういう事故が全国で多発していると。したがって、跳び箱の飛び方のマニュアルがあるとかって言うんだけど、実際、本市はどうなんですかね。とんでもない話が次から次と、僕もとんでもないことを言っとるのかどうかね。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

齊藤教育長。

教育長（齊藤 孝法君）

跳び箱については、どの学校でも実施しております。

ただ、跳び箱についてはレベル差が大きくありますので、例えば飛べない子、手首が十分に力がない子とか、そういう子たちはマットを跳び箱の上に置いたりとか、安全面を第一に考え、それから補助員を置いたりとかしながら段階に応じてやれるように、まして、例えば胸にという、体操服のほうでやらせておりますので、本市においてはそんな事故は起こらないだろうし、いろんなことを段階に応じて、個の状態に応じてやるように、安全面を重視して指導をしております。

ただ、いろんな中で、ちょっと危ないからって全部引き取ってしまうというのは、逆に子どもたちにとって体力がつかなくなってしまうということがありますので、極端な指導はしませんが、きちっと体力がつくように、また、いろんなことに対して対応できるように段階に応じて指導をするようにしておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井委員。

浅井 泰三委員

浅井ですが、追い打ちをかけるようで申しわけないけども、そのときの記事では、滑りどめをつける。跳び箱が滑るといふんだね。滑りどめをつける。勢いをつけさせない。もちろん跳び箱のメンテナンスを怠らない。靴は必ず履く。今おっしゃった適切な補助、そんなことをマニュアルの中にあるといふんだね。実際、僕は調べてないでいかんですけど、今、高橋委員の話を受けてお聞きしとるもんですから、実際にそんなマニュアルみたいなものは、跳び箱の飛び方なんて

いう、そういう文科省か何か発行しとるもんなんですかね。どうなんですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

齊藤教育長。

教育長（齊藤 孝法君）

指導については文科省のほうで出ておりますので、それに沿ってやるということです。

あとですね、段階に関しましては、子どもたちのレベルがありますので、教科担任者がそれに準じて、例えば、文科省が一番低いのを1台置きなさい。これを2台置きなさいというふうには書いていないので、力のない子、それから少しある子、段階に応じていろいろなことをやってみなさいという指導はしてありますので、生徒の力量に応じて先生がそれを増やしたりとか、当初のときの補助員をつくったりとか、または、例えば跳び箱だと手のつく位置にラインテープを張って、ここに手をつきなさいとか、いろんな指導をしております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井委員。

浅井 泰三委員

そうですか、わかりました。大変でしょうけど、よろしくお願いします。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

1点だけですが、決算書にはないんですが、小学校の関係ということで、来年2020年からプログラミング教室が始まりますけども、以前、質問もさせていただいたんですが、本年何かそれに向けての準備とか、今現在、何かしてらっしゃるとかございますか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

齊藤教育長。

教育長（齊藤 孝法君）

今年度は春日小学校にプログラミング教室を段階的に入れて、また、それをデータみたいなものを今後必要かどうかを検討しながら進めている段階で、前は西枇小学校においてプログラミング教室をやりましたんで、今年は春日小学校においてそれを実施するというのを計画しております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

わかりました。

それで、先生方の研修ですが、本年度は何か行われませんか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

齊藤教育長。

教育長（齊藤 孝法君）

プログラミング教室のプログラミングについては、地区全体で全員が全部やれるわけではございませんので、段階的に希望でプログラミングの研修を行うようにしております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

では、2020年開始に向けては、現在のところ万全ですと、そういうふうに認識していいですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

齊藤教育長。

教育長（齊藤 孝法君）

万全と言われると私も言えませんが、しっかり対応できるように努力をしております。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

ありがとうございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

次のページに移りたいと思います。

88、89ページ。

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

岸本でございます。

備考欄の上から8行目ぐらいですか。学校就学援助費についてお尋ねいたします。

これは参考資料の268ページでございます。

30年度からこれまで4月以降にこうした援助といいますか、していたものを前倒して行うよ

うになりましたが、まず、その点についての保護者の方の何か感想といいますか、受けとめ方というのはどういうふうに変ったのでしょうか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

直接前倒しをやったことに対しての御意見等はいただいておりますが、喜んでいただけているものだというふうに思っております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

この中ではわかりにくいんですが、では、30年度の前倒し分て何人の方に小学校・中学校、人数を教えてください。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

小学校の新1年生に対する支給は33名で133万9千800円でした。中学校の1年生に対しては51名、246万4千800円でありました。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

それで、保護者の方への周知ですとか、前倒しで入学のそうしたものを送られたんですが、支給時期とか何か課題とか感じられたことはありました。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

30年度におきましては就学通知を1月に発送いたしますので、それに案内文と一緒に合わせて送付をいたしました。あわせて、1月の広報やホームページなどでも周知を図っており、実際に支給したのが3月15日支給でしたので、今、事務局としては、もう少し早い時期のほうが保

護者の方にとってもいいのではないかということで、もう少し早い時期に支給できるよう事務手続をするということが課題かなというふうに感じております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

もう少し早い時期にとおっしゃいましたが、大体どのくらいだったらいいかなとかお考えですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

今のところ担当レベルで協議しておるのは、もう1か月前、2月の中旬ぐらいまでの支給になるような手続を踏める時期に周知を図っていくというように考えております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

私もそう思います。3月15日ですとかいろいろ準備が終わってる頃だと思しますので、どうせあげるなら、早く準備できる、喜ばれる時期にと思えます。お願いしておきます。

もう1つだけいいですか。もう1点その下の、先ほども小学校で聞きましたが、備考欄の流用・充用190万円ぐらいございますが、これも漏水ですか。何の分でしょうか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

吉野課長補佐。

学校教育課課長補佐（吉野 厚之君）

学校教育課、吉野です。

これにつきましても、西枇杷島中学校のほうで漏水があったと認識しております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

西枇杷島中学校とおっしゃいましたが、済みません、小学校・中学校、こんなに何校も一度にあるものなんですか。理解しがたいですし、その期間はどのくらいの期間が漏水してたのか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

吉野課長補佐。

学校教育課課長補佐（吉野 厚之君）

長いところは数値としては少量だったものが、ある年数を経て大きくなった。なかなか漏水の箇所を見つけることができなくて、そういった数値が大きくなって、やっと見つかったとか、そういうところが多々ございます。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

1年以内ではないような今お答えだったんですが、何年間とか、1校だけならわからないでもないんですけど、何校もってというのは、そういった学校のいろんな点検ですとか保守ですとか、その辺は部長さん、いかがですかね。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

加藤部長。

教育部長（加藤 秀樹君）

教育部長の加藤でございます。

本当に老朽化しておるといところが大きな理由でございます。そのために長寿命化を進めておるわけなんですけれども、どうしても埋設物といところが、先ほどもお話が少しありましたが、特に西枇中の漏水に関しては、私も現場に出向いたりしてたんですけども、なかなか掘ってもわからないという状況でした。

それがいつからちょろちょろ漏れとったのか。今、急に大きくなったのかというところもなかなかわからないというところでした。

ただ、そうは言っても、大事なライフラインになりますので、何とかきちっと整備ができるように、その都度その都度、臨機応変に対応していきたいと考えております。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

老朽化ということでございますが、こうしたことは小学校もそうですが、中学校もどのようにしてこれが判明したんですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

吉野課長補佐。

学校教育課課長補佐（吉野 厚之君）

学校教育課、吉野です。

学校のほうからの報告とか、水道メーターが非常に大きかったというところで判明しております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

水道メーターとかですけど、今後こうしたことが学校が老朽化だったらあっちこっち可能性があるわけですが、改善策というのはどのようにお考えですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

先ほどもお話にありましたけれども、ライフライン等の埋設状況を把握することが一番大事ななというふうに思っておりますので、そういったものを把握した上で、それらがどれぐらい劣化しているかということの把握に努めていきたいというふうに考えております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

何校かこうやって学校があるので、真剣にこれは取り組んでいただきたい。

合計しても、金額だけでいうと350万円ぐらいという大きな金額でもありますし、老朽化で片づけしないで、何らかそれを発見できるお知恵を絞っていただいて、よろしく願います。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岩田課長。

財政課長（岩田 喜一君）

財政課長、岩田でございます。

今、岸本委員御質問の190万円ほど流用・充用があるということで御質問がございましたが、予備費から充用している174万5千円、こちらにつきましては、昨年の9月4日の台風21号で被害を受けて、西枇中の防球ネットと清洲中の防球ネット・鉄棒などを修繕した金額になりますので、174万5千円については、今の教育委員会の説明のものとは違う金額ということになりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

最初にそれを説明してください。合計だと思ったので、そのように御答弁なされたので、私はその金額だと思ったので、早く財政課も答弁をしてください。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

中学校の管理費といふところなんですけど、昨日も建設委員会でも話が出たんですけど、学校の周りの側溝ですね、特に学校の周りが、我々が見とって、結構、草が繁茂しているようなところが多く、毎日毎日、学校の生徒も通ってるわけだし、先生も見とって気づかないのかなと思うぐらい何も改善されないとありますので、これは学校の名前を言っているのかわかりませんが、一度チェックしていただいて、これは道路管理者か土木がやるのかとかいう話になるんですけど、そうじゃなくて、学校の周りだったら、そこら辺は目くばせしていただいて、それが当たり前の状態になって気づかないような状態というのも寂しいなと思ひますし、子どもたちがそういった環境の中といふのはあまり望ましくないと思ひますので、一回チェックしていただいて、何らか対応をこちらのほうからも学校に対してひとつお声かけをお願ひしたいと思ひます。

よろしくお願ひします。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井委員。

浅井 泰三委員

僕らの時代は生徒が草むしりをやったもんだけど、給食の前におなかがすくて、とれとか言っ

て、今は生徒にはやらせないの。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

齊藤教育長。

教育長（齊藤 孝法君）

清掃時間に草とりをやったりとか、夏休みや何かにPTAの方たちに御協力いただいて草取りをやったりとかします。現実になかなか学校敷地が広くて、子どもたちの清掃時間内でやるということができない。

それから、先生の多忙化がどんどんどんどん進んでいって、先生方があいた時間に草取りに専念するという時間が非常に少なくなっているというのも事実です。ですが、できるだけ時間をつくって、少しでも環境を整えるというように、教育委員会としてもやれる範囲の中で努力する。それを全部きちっとやろうと思うと、とてもじゃないですけど、今の時間、それから、そういうものでは正直なところ、非常に不可能ではないかというふうに思います。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井委員。

浅井 泰三委員

浅井ですが、せめて正門の前とか、中だけじゃなくて、今、高橋委員が言われる外も、昨日の建設部でお話しさせてもらった庁舎の周りと一緒にだわね。その表面だけじゃなくて、そういうところから安全、安心とか、いろんなものが生まれると思うんだわね。うちの子に草むしりやらせたって父兄が怒ってきたって、それこそ情操教育の一環だと言えるよね。僕はね、父兄だって納得してくれると思うんだけどね、そういうことに対しては、会社だってそうだわね。もうかってない会社は草ぼうぼうだわ。それは余分だけど、ひとつぜひよろしくお願いします。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

ここで休憩に入りたいと思います。

1時半から再開したいと思いますので、よろしく願いいたします。

（ 時に午前 11時58分 休憩 ）

（ 時に午後 1時30分 再開 ）

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

休憩前に引き続いて質疑に入ります。

その前に、午前中に御質問のありました幼稚園の件について、石黒課長から発言がございます

ので、よろしくお願ひします。

学校教育課長（石黒 直人君）

失礼します。

学校教育課長の石黒でございます。

幼稚園の就園奨励費補助金の件ですが、来年度からの見込みということだったと思います。来年度からにつきましては、今までの従来の対象になっていた子どもプラス所得制限のかかってなかった子どもも対象になりますので、対象者数としては増加しますので、授業料の限度額が月額2万5千700円ということですので、それに掛ける見込みの園児としては、私立に行っている園児が460名程度を見込んでおります。その夏休みを除く11か月分を計算しますと、1億3千万円ほどになりますので、その部分については市が補助として私立幼稚園に支給していく金額になるかと思ひます。

それに対する入のほうにつきましては、まだ国のほうから明確に示されておりませんので、何らかの補助といういか、交付金なり措置はあるかと思ひますが、今のところ情報としてはございません。

もう1つ、高校の無償化の話もありますけれども、そちらについても詳細はまだ出ておりませんので、市が行っております今の補助金制度についての変更につきましては、今のところ、まだ調査するという段階でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

それじゃあ、88、89ページから始めたいと思ひますので、御質問のある方。

大塚委員。

大塚 祥之委員

済みません、大塚です。

小学校入学祝い品費ということで、事業内容のほうに特別支援学校入学児童には贈呈品一式分の金額を贈呈したということなんですけど、この人数だとか金額とかというのを教えていただきたいんですけど。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

ランドセル等につきましては654で、特別支援学校に行ってみえる生徒につきましては7名

おみえですので、その方々につきましては、相当の金額で支給をしております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

その金額というのはお幾らぐらいかわかります。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

お一人あたり1万2千592円になります。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

ありがとうございます。

引き続きなんですけども、このページかどうかわからないんですが、小中学校の通学路の件についてお伺いしたいんですけど、よろしいですか。

昨日ですね、建設委員会のために民間ブロック塀等の撤去の補助金が出たという、12件のうち3件が通学路に対するところでしたということだったんですけども、この辺の詳細について、教育課というのはきちんと理解されているというふうでいいですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

建設部のほうから補助を出した箇所については伺っております。情報も共有しております。

というのは、申請があったところで、建設部のほうとそこの家が通学路上にあるかないかというところをまず見ておりますので、そこら辺は情報をしっかり共有できているというふうに思っております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

今年度ということも把握されていますでしょうか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

今年度についても、現時点での箇所数ということで把握はできておると思います。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

小中学校、その日にちはまちまちですけども、通学路の安全点検ということで、常時、学校の先生だとか保護者の方だとか、そういった形でいつも通学路の安全点検をやられてるということで、危険箇所というものも多分ピックアップされて、そういった情報も、当然、学校教育にはそういう資料的なもので残っているということでもいいですか、チェックした危険箇所というもののリストというのは。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

ブロック塀につきましていますと、昨年度7月ですかね、各学校一斉に、市教委のほうから学校に依頼をして点検をして、地図等に落としをいただいて、それを学校教育課のほうで取りまとめております。

また、そのほかにつきましても、随時、学校のほうから学校教育課のほうへ上げていただいて、改善ができるところにつきましては建設部等々連携を図って改善に当たっております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

ぜひ、通学路の安全対策としても有効な手段だというふうに思ってますし、建設ということで、各課はまたがりますけども、連携をしっかりとっていただいて、こういった箇所の把握だとか、そういったものに努めていただいて、よりよい通学路の安全の対策としてやっていただけるようにお願いします。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

小崎委員。

小崎 進一委員

中学校の教育振興費の中で主要施策のところの273ページの負担金、補助及び交付金のところで部活動登録料など書いています。前年のときには大会参加費というのも入っていたんですけども、今回はこういったものはなくなったということなんですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

大会参加費等についてもこの中に含まれております。

小崎 進一委員

言葉として消えただけという。

学校教育課長（石黒 直人君）

はい。

小崎 進一委員

今、中学校の部活動に対して、暑い日とかいろいろあったりして、部活動の時間に対しての市としての指導とか、そういったものというのは今現状あるんでしょうか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

今現在、校長会等で口頭で、部活動、平日1日は休みにしましょうとか、土日の1日は練習をやめましょうとかいうところで意思確認はしておりますけれども、今まさにそれに関するガイドラインについては策定中でありまして、そういった中で細かく指定していきたいというふうに思っております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

ほかによろしいですか。

90ページ、91ページに行きます。

高橋委員。

高橋 哲生委員

幼稚園のどこなんですけど、確認なんですけど、来年の新入園のことなんですけど、去年はたし

かくじ引きになったと思うんですけど、今年は10月でしたっけね。今、現状ではどのように幼児教育無償化も踏まえて見込んでいらっしゃるのでしょうか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

まず、今現在、来年の入園希望の増減については、まだ手元に確かな資料はありませんので。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

プレとかの兼ね合いもあると思うんですけど、そこら辺の想定というのはまだわからないかな。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

無償化になることによって、私立の幼稚園に行かれる方もあるのかなというふうな思いもある一方、公立の西枇杷島幼稚園のほうに流れてくるのも相応にあるのではないかなというふうに思っております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

そしたら、プレの状況は今はどうなんですか。プレで、何人ぐらい、今。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

数はちょっと。ただ、少ない傾向にあるということは聞いています。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

小崎委員。

小崎 進一委員

中学生海外派遣費についてお伺いしたいんですけども、一応、参加が各学校6人ずつということで、実際、申し込み状況というのをお聞きしてもよろしいでしょうか。

生涯学習課長（近藤 修好君）

生涯学習、近藤です。

全体でよろしいでしょうか。

小崎 進一委員

各学校ごと。

生涯学習課長（近藤 修好君）

西枇杷島中学校、男10、女11、清洲中学校、男10、女27、新川中学校、男6、女17、春日中学校、男3、女8、合計で男が29、女が63で、合計92名です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

小崎委員。

小崎 進一委員

ありがとうございます。

それと、外国の青少年との交流ということで書いてあるんですけども、この申し込みをされている生徒さんの中に外国の方とかハーフの方とかもお見えになる。そこまでは把握してないですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

近藤課長。

生涯学習課長（近藤 修好君）

本年度はおみえにならなかったです。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

小崎 進一委員

いいです、ありがとうございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

92、93ページに移ります。

浅野委員。

浅野 富典委員

一番上から2行目です。歴史文化振興嘱託員、これにつきましては設置要綱がありまして、3条に6つばかりの業務が書いてございますけれども、現在何名おみえになりまして、この中でい

いますと、どの業務に従事されてみえますか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

近藤課長。

生涯学習課長（近藤 修好君）

現在、春日公民館に歴史文化振興員として2名在籍しております。

主な仕事の内容ですけれど、清須市の歴史・文化・伝統に関する事柄について、地域の歴史と文化の調査と研究、歴史的遺物・古文書、歴史図書並びに生活民具等の収集・整理・保管業務を行っております。

また、図書館のほうにあります歴史資料展示室の企画、それによって展示を年に3回開催して、その準備をしていただいております。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野委員。

浅野 富典委員

ありがとうございました。

以前、春日公民館の中に清須市歴史編さんとありましたですね。これはそれと同じようなお仕事ですね。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

近藤課長。

生涯学習課長（近藤 修好君）

当時は、旧町の新川町史の編さん事務等で行っていたと思いますけど、現在は新川町史も発行に至りましてそういった仕事を行っていません。ただ、先ほど申し上げた仕事を中心にしてやっ

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野委員。

浅野 富典委員

ありがとうございました。

もう1つ、清洲の市民センターのことでお聞きしたいんですが、私は清洲市民センターが近いもんですから、よく行くんですが、市民センターは1階の裏から入っていきますと、右側に応接

室がありますね。正直言いまして、私のときからもそうだったんですが、今はそれ以上に壁紙が破れたり、しみがついたり、床のマットは汚れたり、いろいろすごい老朽化が進んでいるんですよ。そこへは来賓の皆さんとか講師の皆さんがあそこに入られるわけです。2階もありますが、一般的に下に入られるんですが、そんなようなことを鑑みたときにですね、あれでは少しみっともないんじゃないかなというふうに私、考えておったんです。

財政課長がおみえになりますけれども、いろんところで事業をやって、不用額とは言いませんけれども、残ったような言い方はあれですが、そういうものが出たときに、ひとつそこら辺の原資を使って修繕なんかできませんでしょうかね。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

近藤課長。

生涯学習課長（近藤 修好君）

市民センターも昭和54年以来、かなり年数がたっている建物でございます。実際、1階の応接室は修繕等は行っておりません。それ以上に修繕するような、そういったものでもございませんでした。ただ、今、委員がおっしゃられたように、多少汚れがあったりとかもございませんでした。今後そういったところを調整しながら、修繕等ができれば進めていきたいなと思っております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野委員。

浅野 富典委員

ぜひとも何とか財源を生み出して、ひとつお願いしたいと思います。

もう1点だけ、それで終わりますので。

下のほうへ行きますと、夢広場はるひ管理費というのがあるんですが、トリエンナーレが行われますよね。トリエンナーレの金賞か何かになりますと、その方の絵画を保有されますよね。そのことなんです、今、絵画ってどれだけあって、どのように管理されて、その絵画の展示計画というのはありますか。お願いいたします。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

近藤課長。

生涯学習課長（近藤 修好君）

トリエンナーレ、過去、第1回がビエンナーレという形で、平成11年度から始まりました。現在、第9回まで終わっています。平成30年度です。その間のトリエンナーレの関係の作品、

今、美術館のほうで収蔵されている作品数が118点あります。

この内訳なんですけれども、いろいろ賞がありまして、大賞以下準大賞、優秀作品までの方々の作品が主な収蔵作品であります。

今後の計画というところ、今、模索しているところでございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野委員。

浅野 富典委員

せっかくの絵ですので、市民の皆さんに見ていただくためにしっかりと計画を立てられて、展示をひとつお願いしたいと、このように思います。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

委員長、前ページで1点だけいいでしょうか。言い忘れました。

では、91ページでございます。

備考欄中ほどの男女共同参画推進費というところでございますが、参考資料の280ページに昨年の講演会のことが書いてございます。去年は国崎信江、防災の女性の視点でという、この方の講演で私も参加させていただきました。

ただ、気になるのが、147名という参加者が、もちろん講演会によって前年度は蓮池さんだったり、満員でお断りするときもあれば、講師によって皆さんの関心度もさまざまかなと思うんですが、まず、啓蒙啓発はどのようにやっていらっしゃるのか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

近藤課長。

生涯学習課長（近藤 修好君）

まず、市の広報がございます。あと、チラシ、ポスター、各種団体等にお声をかけさせていただきながら、また、近隣市町にもお声をかけさせていただいているところであります。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

課長自身は前回の147名という参加者、この人数はどのようにお考えですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

近藤課長。

生涯学習課長（近藤 修好君）

これは、講演者の方の講演の内容にもよりますところがあります。147名、市民センターのホールで行っているんですけど、そういった講演内容ですね、非常に興味がある方は来ていただきながらもらっているところでもあります。その内容にもよるところがあるんじゃないかと思っております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

確かに、それは言えてると思うんですね。本年10月26日に講演の内容は、LGBTという、そうしたタイトルの内容のことで伺っておりますが、そうしたところへの取り組みは今年度はどのようにしていらっしゃいますか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

近藤課長。

生涯学習課長（近藤 修好君）

既に、各種団体のほうにもお声をかけさせていただいております。当然ながら、ポスター・チラシ等も作成しております。重立った施設にもお配りをしているところでもあります。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

いろいろあちこち啓蒙啓発しているよとおっしゃるんですが、例えば、いろんな行事にしても、事業にしても、ある程度目標というのは大切だと思うんですね。ここはたしか330か350入る施設だと思うんですが、せめてこのくらいは結集したいなとかあると思うんですが、男女共同参画の企画ですかね、ここのところが主催ではあるんですが、その辺は、例えば、せめて半分以上はねとか、開催するには何らかあると思うんですが、その辺の目標というのは課長いかがですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

近藤課長。

生涯学習課長（近藤 修好君）

会場が満席で372席あります。目標といえば、その372席いっぱいにしていきたいという目標はございますけれど、それに向けて私どもも関係の団体に声をかけながら、目標に向かって参加してもらえるように努めていきたいと思っております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

確かに、満席になれば一番いいことはないんですが、前回はこういった数でもありました。

教育部長、この辺はどうですかね。

私は、「目標は」って聞いたんですが、部長自身はせめて最低ライン、このくらいは結集というか、参加してもらいたいというラインというのは、目標ございますか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

加藤部長。

教育部長（加藤 秀樹君）

教育部長、加藤でございます。

ただいま課長が申しましたように、目標、本当に満席にしていきたいという思いはございます。ただ、今、こちらに書いてございますように、昨年度147名という人数でしたので、今年度はしっかり皆さんにPRをして、いい講義になることは間違いございませんので、参加者を増やしていくように努力してまいります。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

最低何人という決意を含めてお聞かせください。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

加藤部長。

教育部長（加藤 秀樹君）

限りなくいっぱいになるように頑張ります。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

多くのことを言っても、それは多くのことだから、私が聞いているのは、最小限これだけは結集しますよということは決意とか目標がないとお知恵も出てこないし、関心がある人が来ればいいがねみたいなの、そんなことはないと思いますけど、最低ラインをお聞きいたします。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

加藤部長。

教育部長（加藤 秀樹君）

申しわけございません。

どちらにしても、こちらは無料です。それで、今の話で市民、市民外も大丈夫というようなお話で企画しておりますので、本当に多くの方に声をかけて、満員になるように努めてまいります。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

では、期待しております。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

文化財保護費の問屋記念館のどこなんですけど、8月の終わりごろなんですけど、夏休みの最後にこの施設に一度お伺いしたんですけど、中へ入って、靴を脱いで畳に上がるじゃないですか。その奥のところが開まって、その奥に展示してあるスペースがあると思うんですけど、閉まっていたんですけど、今はそういう状況なんですか。閉まっているんですかね、あれからは行かないんで。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

近藤課長。

生涯学習課長（近藤 修好君）

奥の展示ケースは閉まっていることはないと思います。こちらのほうは確認させていただきたいと思うんですけど。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

わからないですけどね、管理人のあんばいがどういうことかわからないんですけど、来館者がちゃんと見れるようにやっていただきたいと思いますけど、その辺のチェックというか、お願いいたします。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

大塚です。

文化振興費についてお伺いいたします。

主要成果の290ページになります。

納涼盆踊り、カラオケ発表会を含め、各事業あるわけなんですけども、この委託料の各事業開催業務ということで474万円を計上されていますけど、（1）から（6）、この金額がかかったということでもよろしいですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

近藤課長。

生涯学習課長（近藤 修好君）

この各事業ですけれど、まず、市から文化協会の委託事業でございます。

納涼盆踊りは173万1千円、カラオケ発表会と芸能発表会は、芸能部門として取り扱っております。一括で104万7千円、文化展189万2千円、囲碁・将棋大会7万円です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

ありがとうございます。

この納涼盆踊りに関しましては、2日間で173万1千円ということだと思っておりますけど、今年度1日だけの開催となっておりますけど、金額等ってどれぐらい変わっているかわかりますか

しょうか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

近藤課長。

生涯学習課長（近藤 修好君）

決算的にはまだ終わっておりませんが、2日から1日型になりました。によって大きな金額は変わりません。設置等がございます。

ただ、消耗品等が変わってきますので、10万円までは変わらないと思います。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

ありがとうございます。

10万円ぐらいだよということで今いただきましたけども、なぜこの質問をさせていただいたかということ、いろんな決め事がありまして、今年が1日ということだったんですけど、中には2日間楽しみにしているわという御意見もありましたので、値段的にそんなに違うのかなということも含めて聞いたんですけども、こういった御意見もあるということで、今いろんな踊り手さんの問題だとか、商工会さんの問題だとかってありますけど、少しこういうことも含めて協議していただければと思いますので、よろしくお願いたします。

もう1点、ごめんなさい。大塚です。

春日公民館費ですね。3階に料理教室等がございます、回数にすると150回、延べ人数が2千151人ということで、主要成果だと296になりますけども、この料理教室で使われている調理器具だとかいうものは、今まで買い直されたことがありますかということをお伺いします。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

近藤課長。

生涯学習課長（近藤 修好君）

大きな調理器具はございません。ただし、はかりなど小さい器具があります。こういったものは取り替えた経緯はあります。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

大きいものはないということでしたけども、春日公民館も避難所としての機能も持っているということもございまして、新たに費用対効果とかいろいろあるかと思えますし、いろんな適正な管理の中で全て新しいものに買い替えるということではないんですけども、そういった費用対効果の面も踏まえて、そういった大きいものも故障したりだとか、そういったことで補修されているとは思いますが、一度そういったものに関しても新しくするような形のことを御検討をしていただきたいということを、これはお願いだけで結構です。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

それでは、94、95、96、97ページ。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野委員。

浅野 富典委員

いよいよ東京オリンピックも来年なんですけど、それで、さきに東京オリンピックの愛知県内を走る聖火ランナー、募集がされていたと思うんですけど、応募は何名あったかお聞きしたいことと、これも全協なんかでお話が出ているんですけど、来年の4月6日午後ですね、清洲城からカルチバ新川まで聖火が走るわけなんですけど、今の段階ではまだ新聞発表がされてないからだめかなと思うんですけど、聖火ランナーのコースとそのときに走る聖火ランナーは何名になるかということ、それから、セレモニーが行われるという話も聞きましたが、それも全協のときには、「現在検討中ですよ」と、こういう話がありました。今も検討中なのか、それと、発表できたらいつごろだったら発表がされるかということをお聞きしたいと思います。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野課長。

スポーツ課長（浅野 英樹君）

スポーツ課、浅野です。

東京オリンピックの聖火ランナーにつきましては、愛知県は22名募集がありました。9月6日に県のほうが発表しているものがあります。応募受け付け件数4千34件で、倍率としましては、183.4倍だそうです。

聖火リレーの出発地点とゴール地点につきましては、報道発表があったとおりなんですけれども、セレモニーにつきましては、三河のほうの家康色を出すといううわさを聞いたもんですから、清須につきましては信長色を出していきたいと考えております。まだ、内容につきましては調整中でございますので、また、後日、県のほうから12月にまとめて発表があるというふうに聞いております。

コースにつきましても、今、警察との協議中でありまして、それも同時に12月に発表があるというふうに聞いております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野委員。

浅野 富典委員

セレモニーにつきましては、清須らしい、今、信長云々てありましたが、ひとつそのように盛大とは申し上げませんが、清須らしいセレモニーにしていきたいと、このように思っております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

95ページの学校給食センター費のところでお尋ねいたします。

金額のことではなくて、2点ほどお尋ねいたします。

1点は、いつもいつも調理員が足りないということで、広報でも募集が出ているんですが、現在どうなのでしょう。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

吉田所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

学校給食センター管理事務所長、吉田です。

現在も調理員については、こちらが定めておる定数よりは不足をしておるという状況でございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

不足していると。この人数だけあったらいいなっていうのにどのくらい足りないんですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

吉田所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

うちのほうで想定している人数で調理員の数でいきますと、9名不足しておるといいう状況でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

この9名不足分は他の方に負担がいつてるとか、その辺はどうですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

吉田所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

現在でございますが、シルバー人材センターの会員さんに派遣をしていただきながら回しておるといいう状況でございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

わかりました。

それと、もう1点は、昨日の新聞に一宮市で北部学校給食共同調理場でセアカゴケグモが確認されたと、この記事は御存じですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

吉田所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

はい、聞いております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

私もびっくりしたんですが、本市では当然ないと思うんですが、こうしたことも他市であることは想定されるということですかね。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

吉田所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

当然、野菜に付着しておることもあるかと思えます。荷受けのときに十分注意をして、現状、栄養士、調理員、食材のほうを受け取っておるところでございます。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

このことがあってから、給食センターのほうでこれに対する対策というか、皆さんで協議されたとか、確認されたとか、それはいかがですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

吉田所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

まだ、情報の共有をする程度でございまして、栄養士を含めた調理員のほうに何かこちらから話をさせていただいたというところは、今のところはまだございません。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

これも危機管理の問題になると思いますので、早急にそうしたことを携わっていらっしゃる方で情報共有といいますか、それは本当に早くしなければならないのではと思いますが、いかがですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

吉田所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

他のこともいろいろ給食の絡みですと新聞にも載ることも多い状況を確認しておりますので、そういったときは新聞記事等をセンター内で回覧するなどして、注意喚起を図っていきたく思っております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

よろしく申し上げます。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

大塚です。

体育施設費の屋外社会体育施設費ということで、主要成果318ページになるんですけども、西枇杷島野球場管理費、利用回数として572回、うち71回は夜間照明施設利用と。春日グラウンド管理費ということで、利用回数502回、うち88回は夜間照明施設利用ということなんですけども、こういったナイター施設等におかれますLED化というものに対して、どういう形で考えをお持ちか伺います。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野課長。

スポーツ課長（浅野 英樹君）

今、委員がおっしゃいました西枇杷島野球場と春日グラウンド、ここのナイターにつきましては、利用者から暗いという要望とかは、今のところは受け取っておりません。

ただ、現状、水銀灯とか電球のほうでやっていますので、それがいつ切れるかわからないんですけども、切れていったらどんどん変えていかなきゃいけないという現状にはございますが、その製品がいつまでつくっているかどうかということも勘案しながら、いずれはLED化にしなければいけないなという考えはありますが、順次いつごろやるかというのは、また検討させていただきたいと思っております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

大塚委員。

大塚 祥之委員

ありがとうございます。結構です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

体育施設費なんですけど、アルコとカルチバなんですけど、プールとジムというのがあると思うんですが、こちらのほうですね、利用者は結構いると思うんですけど、利用料を払って指定管理のほうに入ってくる分ですね、利用料は年間どれぐらいあったのか、もしわかったら参考までに知りたいんですけど。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野課長。

スポーツ課長（浅野 英樹君）

利用料としては、今、資料がないんですけども、利用人数につきましては、こちらに資料があります。

30年度につきましては、プール16万3千40人。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

済みません、利用料がわかればいいんですけど、わからなかったらまた後で教えていただければ結構です。

もう1件いいですか。

給食センターのほうなんですけど、先日ですね、台風の関係か何かで給食が中止になったことがあったんですけど、割と早い判断だったと思うんです。それは別によかったとは私は思っておるんですけど、それによって、まず食品のロスというのは免れたんでしょうか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

加藤部長。

教育部長（加藤 秀樹君）

教育部長の加藤でございます。

まず、先般は金曜日に、お昼ぐらいには判断をして、児童生徒のほうに周知をしたいということと判断をして、実際は月曜日、台風がそれたということで、不幸中の幸いだったと思っております。そういったことで、早く判断ができたというところもあって、1日、メニューをずらすというような形で食品ロスを防ぐという対応もできました。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

1食分減った分ですね、そういった分で浮いてくる財源というのはあるんですか。そこはどうかということなんですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

吉田所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

学校給食センター管理事務所長、吉田です。

台風などで急遽中止した給食につきましては、後月の献立に反映をさせていただくということで、皆さんからいただいた給食費については全て使わせていただいて、提供させていただくという形になります。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

そうすると、後月は内容がよくなっているというような、そういう解釈でよろしいでしょうか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

吉田所長。

学校給食センター管理事務所長（吉田 剛君）

少しではありますが、そういった考えで結構でございます。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

そういった努力はすごく早い判断で、それはそれでよかったと思うんですけど、一方で、給食が中止になるとお母さん方がてんやわんやというか、大変だわという話も聞くんですけど、同じ仲間の山内議員が調べてくれたんですけど、名古屋市と北名古屋市が、給食が中止になったときに学校に避難所の備蓄のカレーか何かを置いて、そのときはそれを出すということをやっているそうなんですけど、こちらのほうって御存じですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

加藤部長。

教育部長（加藤 秀樹君）

教育部長、加藤でございます。

ただいま委員おっしゃられたように、名古屋市のほうでそういったこと、また隣の北名古屋市でもそういったような考えがあるということは承知しております。

私どものほうは御存じのように、学校施設が避難所となっております。そこには非常食等が配置してございます。ただ、そういった場合に、そういったものを持ち出すということは、もちろん内部でも協議しなきゃいけませんし、もちろんアレルギーの問題等も発生します。ですので、そういったところは先進地等をながめながら研究してまいります。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

高橋委員。

高橋 哲生委員

今、出してるカレーは温めなくてもいいようなカレーで、アレルギーにも対応しとるようなものがあるらしいです。そういったことも先進事例としてありますので、1つの防災訓練的な要素もあるのかなとも思いますし、何かメリット・デメリットいろいろ考えていただいて、もしよかったら、そういったことも検討していただきたいと思います。

よろしくをお願いします。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

岸本でございます。

95ページの上のほうに清須ウオーク費として450万円ほどございます。308ページに参考資料がございますが、まず、この参加者、春が804人、秋が650人とございますが、この参加者の推移はどのようなようですか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野課長。

スポーツ課長（浅野 英樹君）

春につきましては、今年につきましては1千66人として少し増えている状態です。実際には30年度はここ5年間で一番少ない状況でございました。

秋につきましては、去年は650人、その前が651人、5年ぐらい前からは少し減っている状況でございます。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

私も前は1千人以上、多いときは1千500人とかあったような気がするんですが、市内市外はわかりますか、参加者。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野課長。

スポーツ課長（浅野 英樹君）

市内市外につきましては、こちらのほうで把握できませんので、申しわけありません。わかりません。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

こちらのほうで把握って、募集のときって、市内とか市外とか全然とらないんですかね。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野課長。

スポーツ課長（浅野 英樹君）

住所で調べればわかるんですけども、こちらに資料がないので、申しわけないです。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

住所でというか、今さら聞くようなことでもないんですけど、大体、市内の人が何割ぐらい、市外が何割ぐらいという、そういったことをお聞きしたいわけで、石黒課長、答えそうなお顔ですが。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

学校教育課長の石黒です。

私がやっていた2年間につきましては、市外市内のところは申込書でわかりますので、集計はして、それなりに把握はしておりました。

ただ、記憶が定かではないので申しわけないですけど、市外の方も相当数、たしか市外の方のほうが多かったかなというような感覚でおります。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

私は単純に大体把握していらっしゃるのかなと思ったんです。要は、市内の人はどれくらい、清須市のこれに書いてありますね。「地域資源、歴史を見ていただきたい」、大きく中日新聞で宣伝してるじゃないですか。どちらも呼び込みたいんでしょうけど、せめてそのくらいは把握しとってくださいよ。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

石黒課長。

学校教育課長（石黒 直人君）

私がやっとなったときでいけば、そこは僕としては関心が高くて、いかに市外の方が清須市に来ていただけるのか。市外の方を呼び込むために、少なくともはなっておりますが、秋のウォークでは、西枇杷の山車蔵をあけてもらうだとか、そういった取り組みをいろいろやっておりましたので、これからも、もちろん市内の方にも出やすい状況であるべきだと思いますが、市外の方に清須のよ

さを知っていただくためのイベントでもありますので、そういったところで教育部としてやっていきたいと考えております。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

私もここにこうやって清須市のいいところ、歴史・文化と、今、山車蔵もありましたので、両方来ていただければいいんですけど、市外の方も呼び込むなら、これはスポーツ課ですかね、そういったことも意識しながら外の方に向けてどのように。あんなに大きく中日新聞に毎掲載っているじゃないですか、その辺、掌握をよろしくお願いします。

ただ、人数が減っていくことに関して、今、私も見てびっくりしたんですけど、これは課題なのか、何を課題として、何を今後どうされるのかというところが1つの目的も含めて下に書いてありますけど、どのように今後取り組まれていけますか。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅野課長。

スポーツ課長（浅野 英樹君）

今までのコースと違ったコースとかも考えながら、また魅力があるものを発信できればいいと思っておりますが、実際に何人まで増やすとかという目標は今のところ立てていませんが、少しでも多くの方が運動できる機会を増やしていきたいと思っております。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

岸本副委員長。

建設文教委員会副委員長（岸本 洋美君）

今、コースもおっしゃったんですが、1つは、昨日、建設のほうでもありましたね、五条川の散策路も今つくっているか、できてるところもあるんですが、せっかくそうしたところもあるので、もし、そういったところを利用できるなら考えていただきたいことと、春と秋、イベントがちょうど終着点でありますよね。そうしたことも含めて、あれは中日新聞がPRしてくれてるのかわかりませんが、勅使河原さんもみえますし、どうせやるなら参加者というかね、もうちょっと清須市をアピール。来てはみえますけども、人数が減ってるなというの寂しく思いますので、また、秋のほうに向けてよろしくお願いします。

以上です。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

それでは、これで質疑を終わります。

認定第1号 平成30年度清須市一般会計決算認定所管分について採決をいたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

＜ 挙 手 全 員 ＞

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

ありがとうございました。

全員賛成です。

よって、認定第1号 平成30年度清須市一般会計決算認定所管分については、原案のとおり承認されました。

次に、議案第53号 清須市立幼稚園授業料等条例を廃止する条例案について、説明をお願いいたします。

学校教育課長（石黒 直人君）

学校教育課長の石黒でございます。

提出案件の57ページをお願いいたします。

議案第53号

清須市立幼稚園授業料等条例を廃止する条例案

上記の議案を提出する。

令和元年9月2日提出

清須市長 永田 純夫

提案理由です。

この案を提出するのは、子ども・子育て支援法施行令の一部改正による子どものための教育・保育給付の利用者負担上限額の無償化に伴い、市立幼稚園の授業料等に係る条例を廃止する必要があるからです。

1ページめくっていただきまして、58ページをお願いいたします。

清須市立幼稚園授業料等条例を廃止する条例案

主な改正内容につきまして御説明させていただきます。

子ども・子育て支援法施行令の一部改正により、利用者負担上限額の無償化に伴い、条例を廃止するものです。

附則第1項 この条例は、令和元年10月1日から施行する。

第3項で、清須市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等を定める条例の一部改正により、市立幼稚園の預かり保育料を規定するものであります。

以上でございます。

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

ありがとうございました。

それでは、質疑に入ります。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

（ 「なし」 の声あり ）

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

これで質疑を終わります。

議案第53号 清須市立幼稚園授業料等条例を廃止する条例案について採決をいたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

ありがとうございました。

全員賛成であります。

よって、議案第53号 清須市立幼稚園授業料等条例を廃止する条例案については、原案のとおり承認されました。

次に、発議第2号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書（案）を議題といたします。

提出者である小崎委員、発言席に移動をお願いいたします。

< 小崎 進一委員 登壇 >

建設文教委員会委員長（八木 勝之君）

本会議において朗読説明をいただいておりますので、委員会での朗読は省略いたします。

ただいまから審議に入ります。

質疑のある方は挙手をお願いいたします。

(「なし」の声あり)

建設文教委員会委員長 (八木 勝之君)

これで質疑を終わります。

小崎委員、お疲れさまでございました。自席へお戻りください。

発議第2号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書(案)について採決をいたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

建設文教委員会委員長 (八木 勝之君)

ありがとうございました。

全員賛成です。

よって、発議第2号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書(案)については、原案のとおり承認されました。

以上で、建設文教委員会に付託されました全議案の審議は終了いたしました。

これをもちまして、建設文教委員会を閉会いたします。

2日間にわたる御審議、お疲れさまでした。

(時に午後 2時22分 閉会)

清須市議会委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

令和元年9月19日

建設文教委員会委員長 八 木 勝 之